

CDPフォレスト質問書

上級編

2021年ウェビナー
CDPジャパン事務局



本ウェビナーについて



- ▼ CDP報告ガイダンス、スコアリング基準、スコアリングイントロダクション等の内容に沿って説明しています。これらの情報は、ウェブサイトに掲載しています。
- ▼ スコアリングの詳細についてもご紹介していますが、スコアリングの基本については、スコアリングイントロダクションの文書やウェビナーをまずご覧ください。
- ▼ 本ウェビナーの内容、CDPウェブサイトに記載している日本語版の内容は、CDP日本事務局が、日本企業の皆様向けに日本語での説明を行うために作成したものです。最新の状況を反映しきれていない可能性もありますので、正しくは英語版をご参照ください。



参考資料



▼フォレストに関する資料としては以下がございます。
(2021年5月時点)

※ 日本語：（日）、英語：（英）

関連資料	概要	掲載場所
2021年フォレスト質問書 スコアリング基準（日）	各設問ごとの、詳細なスコアリング基準をご確認いただけます。言語を日本語に切り替えていただくことが可能です。	リンク
フォレスト質問書および 報告ガイダンス 2021（日）	各設問の意図、ご回答いただきたい内容、用語の定義等をご確認いただけます。言語を日本語に切り替えていただくことが可能です。	リンク
2020年-2021年 フォレスト 質問書&スコアリング変更点（日）	前年（2020）の質問書から変更された箇所をご確認いただけます。	リンク
2020年-2021年 フォレスト スコアリング基準変更点（英）	前年（2020）のスコアリング基準から変更された箇所をご確認いただけます。	リンク
2021年フォレスト 評価カテゴリーの重みづけ（英）	CDPのスコアリングでは、マネジメントレベル及びリーダーシップレベルの評価において、カテゴリーが設定されており、各カテゴリーに適用される評価上のウェイトニングをご確認いただけます。	リンク
CDPフォレストレポート2020：日本版（日）	2020年CDPフォレスト回答企業のスコア及び回答の分析結果をご確認頂けます。	リンク
CDP 開示サポート 日本サイト（日） （フォレスト質問書2021-基礎編：動画／資料） （フォレスト質問書2021-上級編：動画／資料）	CDPでは日本企業様による開示を支援するために、日本語を通じた情報提供をしております。随時資料を公開していきますので、ぜひご参考にしていただければと思います。	リンク

回答の際の注意点



- ▼ スコアリングは、回答欄に記載された内容にのみ基づいて実施されます。
⇒ 外部URLの参照、資料の添付（一部質問を除く）、他の回答欄を参照しなければならない回答等はスコアリングには反映されません。

NG回答例

- ・ 「当社のリスク管理活動の詳細については、ウェブサイト（<http://www ~~~>）をご覧ください」
- ・ 「詳細は質問〇〇への回答内容を参照のこと」

- ▼ 無回答欄が多い場合はスコアが低くなってしまいます。
 - **Please explain(説明してください)** や **Description(詳細)** は必ず記入してください。
 - 数値記入欄において、空欄とゼロを回答することは意味が異なります。不明な場合は空欄のままで、把握していてゼロの場合はゼロと記入してください。
- ▼ 下位レベルで一定のスコアを満たしていないと、上位レベルのスコアが0になる質問があります（例：マネジメントが満点の場合のみリーダーシップを評価）。



回答の際の注意点

(文章記述欄：自社固有／ケーススタディ／事例)



▼ 自社固有の (Company-specific) 回答が求められる場合

同じ地域で活動する企業、同じセクターの企業と区別できるような、環境問題の自社にとっての具体的な影響、自社の具体的な活動、固有の製品／サービス、などについて記載してください。

▼ ケーススタディ (Case study) の記載

回答を裏付けるための具体的なケーススタディを提供することでポイントが与えられる質問があります。ケーススタディを記述する際には、以下に挙げる「Situation-Task-Action-Result (STAR)」アプローチに沿った記載を含めてください。

▼ 事例 (Example) の記載

上記のSTARアプローチに沿った記述は必要ありません。ケーススタディよりも簡潔に記載でき、いくつか自社固有の情報が含まれていれば望ましいと言えます。

注：上述は、全質問書共通のルールとなっておりますが、フォレストの場合は、以下を特にご留意ください。

- 1) 事例については、自社に固有の (Company-specific) 情報、具体的な時間と場所の情報を含めることをお勧めします。
- 2) 事例のうち、特に日付や場所の情報が必要とされる回答については、各質問のスコアリング基準において特記されています（例：「日付と場所を含み」、「事例 (地理的情報を含む)」）。
- 3) 「前年に講じられた措置」の事例の場合は、2020年中の措置を意味します。2020年以外でも、F0.2の報告期間内であれば認められる場合もありますが、その場合は、月まで記載ください（例：2019年12月、2021年1月）。



セクター別質問書



- ▼ 気候変動、水セキュリティ、森林減少といった環境問題の影響が大きいセクターに該当する企業にはセクター別の質問が設定されています。セクター別の質問は、質問番号に各セクターを示すアルファベットが付記されています。
- ▼ どのセクター別質問に該当するかは、企業がどのセクター（CDPのセクター分類に基づく）に属しているかによって決まります。（該当するセクター別質問は、各プログラム共通です。）
- ▼ セクター別質問に該当しない場合、[一般]セクター質問書に回答いただきます。
- ▼ フォレスト質問書においては、セクターの特徴に沿ったスコアリングは実施しておりません。

農業	エネルギー	金融	素材	輸送
• 製紙・林業(PF)	• 石炭(CO)		• 金属・鉱業(MM)	

注：本ウェビナーではセクター別質問の詳細については割愛しています。
ウェブサイト上の報告ガイダンスなどのページからセクター固有の情報をご確認ください。



CDPフォレスト質問書 対象コモディティ

自社の事業に関連したコモディティのみ回答

<スコアリング対象>



木材



パーム油



大豆



畜牛品

<スコアリング対象外>

天然ゴム／カカオ／コーヒー

参考：フォレスト質問書の回答対象企業選定基準はCDPが設定する以下3つがベースとなっております。

1. 森林影響評価 (Forest impact assessment)
2. 森林影響レーティング (Forest impact rating)
3. 収益閾値 (Revenue threshold)

詳しくは、こちらの文書「[CDP's Forests Sample – Investor Request \(rackcdn.com\)](#)」をご参照ください。

CDPフォレスト質問書 構成

2021 モジュール

F0 はじめに

F1 現在の状態

F2 手順

F3 リスクと機会

F4 ガバナンス

F5 事業戦略

F6 実践

F7 検証

F8 障害と課題

F17 最終承認

2021 スコアリングカテゴリー

Land-based metrics (土地基準の指標)

Consumption and production data (消費と生産に関するデータ)

Forest risk and impact assessment (森林リスクと影響評価)

Forest-related risk exposure (森林関連リスクエクスポージャー)

Forest-related opportunities (森林関連機会)

Governance (ガバナンス)

Policy and commitments (方針とコミットメント)

Business strategy (事業戦略)

Targets (目標)

Traceability (トレーサビリティ)

Certification (認証)

Engagement (エンゲージメント)

Sign Off (最終承認)

100% Disclosure (情報開示スコア満点)



F0 はじめに Introduction

F0.1 貴社の基本情報をご入力下さい。

F0.2 データの報告年の開始日と終了日を入力してください。

F0.3 回答全体を通じて金額について回答する場合に使用する通貨単位を選択してください。

F0.4 開示する、あるいは開示しない森林リスク・コモディティ（貴社の加工原料または製造品の調達先であるものを含む）を選択します。選択した各森林リスク・コモディティに関して、貴社の事業領域を最も良く表したサプライチェーンの段階を特定します。

採点対象外

採点対象

Aリスト要件 **F0.5** 開示に含まれていない直接操業またはサプライチェーンはありますか。

採点対象

はい

いいえ

Aリスト要件 **F0.5a** 開示に含まれていない直接操業またはサプライチェーンの部分を特定します。

採点対象

モジュール終了



F0 はじめに

F0.4 開示する、あるいは開示しない森林リスク・コモディティ（貴社の加工原料または製造品の調達先であるものを含む）を選択します。選択した各森林リスク・コモディティに関して、貴社の事業領域を最もよく表したサプライチェーンの段階を特定します。

森林リスク・コモディティ	コモディティの開示	サプライチェーンの段階	開示しない場合の説明
木材製品	選択肢: <div><input checked="" type="radio"/> 開示</div> <div><input type="radio"/> 開示していない</div> <div><input type="radio"/> このコモディティは、弊社では生産、調達、あるいは使用されていません。</div>	該当するものをすべて選択: <div><input type="radio"/> 生産</div> <div><input checked="" type="radio"/> 加工</div> <div><input checked="" type="radio"/> 取引</div> <div><input checked="" type="radio"/> 製造</div> <div><input type="radio"/> 販売</div>	文章記入欄[最大2,400文字]
パーム油*			
畜産品(牛)*			
大豆*			
その他 - ゴム			
その他 - ココア*			
その他 - コーヒー*			

自社の事業が複数の段階にわたっている場合は、該当する全てを選択して下さい。

*製紙・林業セクター企業には表示されません

重要！ ここで 開示コモディティとサプライチェーンの段階を選択しないと先の質問に進めません！

F0 はじめに

F0.4 開示する、あるいは開示しない森林リスク・コモディティ（貴社の加工原料または製造品の調達先であるものを含む）を選択します。選択した各森林リスク・コモディティに関して、貴社の事業領域を最もよく表したサプライチェーンの段階を特定します。

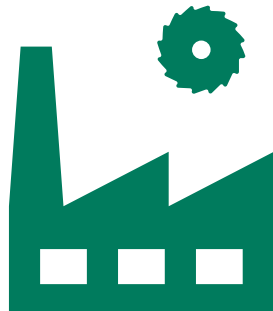
原材料生産

（例：原木の生産）



加工

（例：建材に加工）



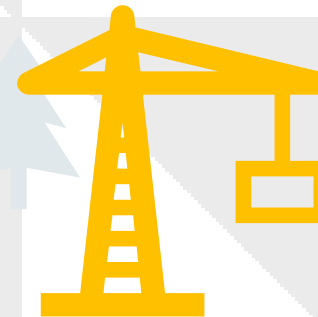
取引

（例：原木・建材の取引）



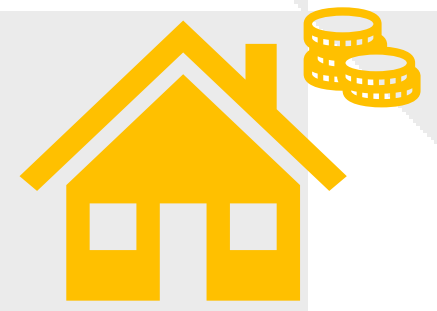
製造

（例：建物の建築）



販売（小売）

（例：建物の販売）



原材料の生産地の状況を直接的に把握する

- ・ 原産地のモニタリング
- ・ 原材料生産に関する基準設定
- ・ 生産者との直接協働

原材料の生産地の状況を考慮した調達をする

- ・ コモディティのトレーサビリティ
- ・ 調達基準設定
- ・ サプライヤーとの協働



F0 はじめに

F0.4 開示する、あるいは開示しない森林リスク・コモディティ（貴社の加工原料または製造品の調達先であるものを含む）を選択します。選択した各森林リスク・コモディティに関して、貴社の事業領域を最もよく表したサプライチェーンの段階を特定します。

	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ
採点 基準	<ul style="list-style-type: none"> ・記入した行ごとに1点を付与 ・[その他 - ゴム]、[その他 - ココア]、および[その他 - コーヒー]の行は採点対象外 ・2021年フォレスト質問書でスコアリングを受けるためには、回答企業は4つの森林リスク・コモディティのうちの1つ以上に関して、[コモディティ開示]欄で[開示]を選択し、且つ、[サプライチェーンの段階]でいずれかの選択肢の選択が必要 ・スコアリング対象のコモディティ:木材製品、パーム油、畜産品(牛)、大豆 	採点対象外	採点対象外	採点対象外
配点	4	0	0	0

ここで選択したコモディティがスコアリング対象です



F0 はじめに

【Aリスト要件】

F0.5 開示に含まれていない直接操業またはサプライチェーンの部分がありますか。

「はい」の場合⇒F0.5aへ

「いいえ」の場合⇒F1へ

<スコアリング基準>

	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ
採点基準	いずれかの選択肢を選択することに対して1点	採点対象外	採点対象外	a) [いいえ]を選択：1点 b) [はい]を選択 – 0点満点中0点
配点	1	0	0	1, 0



F0 はじめに

【Aリスト要件】



F0.5a 開示に含まれていない直接操業またはサプライチェーンの部分を特定します。

＜回答依頼内容＞ F0.5の回答で[はい]を選択した場合にのみ、この質問が表示

バリューチェーン上の段階	除外対象	除外の詳細	森林関連リスクの可能性	説明してください
選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 直接操業 サプライチェーン 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 国/地理的エリア 事業活動 施設 特定の製品ライン 特定のサプライヤー その他、具体的にお答えください 	文章記入欄[最大2,400文字]	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 可能性はない 森林関連リスクの可能性はあるが、評価していない 森林関連リスクの可能性があると評価しているが、CDPに開示しない 不明 	文章記入欄[最大2,400文字]

注：回答行を追加するには、表の下にある [回答行を追加] ボタンを押してください。

＜スコアリング基準＞

次のスライドを参照。





F0 はじめに

【Aリスト要件】

F0.5a 開示に含まれていない直接操業またはサプライチェーンの部分を特定します。

<スコアリング基準>

	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ
採点 基準	<p>以下の各列についてすべて記入した行の数に比例して、ポイントを付与:</p> <p>[除外]および[除外の説明]欄に回答を記入: 1点</p> <p>[森林関連リスクの可能性]と[説明してください]欄に回答を記入: 1点</p> <p>回答した行の数に関わらず、2点を獲得可能</p>	<p>以下のとおり回答した行の数に比例して認識ポイントを付与:</p> <p>[森林関連リスクの可能性]欄で[不明]以外を選択: 1点</p> <p>回答した行の数に関わらず、1点を獲得可能</p>	採点対象外	<p>この質問に対してリーダーシップポイントを獲得するには、情報開示ポイントの満点付与が必要。</p> <p>以下のとおり回答した行の数に比例して、ポイントを付与:</p> <p>i) 除外が適用される森林リスク・コモディティが[除外の説明]欄に含まれている - 0.5点</p> <p>[説明してください]欄に、以下の内容が記入されている:</p> <p>ii) 企業の操業のかなりの部分を代表するかどうかも含め、除外の根拠を説明 - 1点</p> <p>iii) 除外対象となるコモディティ使用量の定量的評価基準、例えば総生産量/消費量のうちの割合(%) - 0.5点</p> <p>回答した行の数に関わらず、2点を獲得可能</p> <p>直近の合併/買収による除外に関して:買収が発生した年、且つ、報告にデータを含めることが見込まれる時期を記載している場合、リーダーシップポイントが満点付与</p>
15 配点	2	1	0	2



F1 現在の状態 Current state

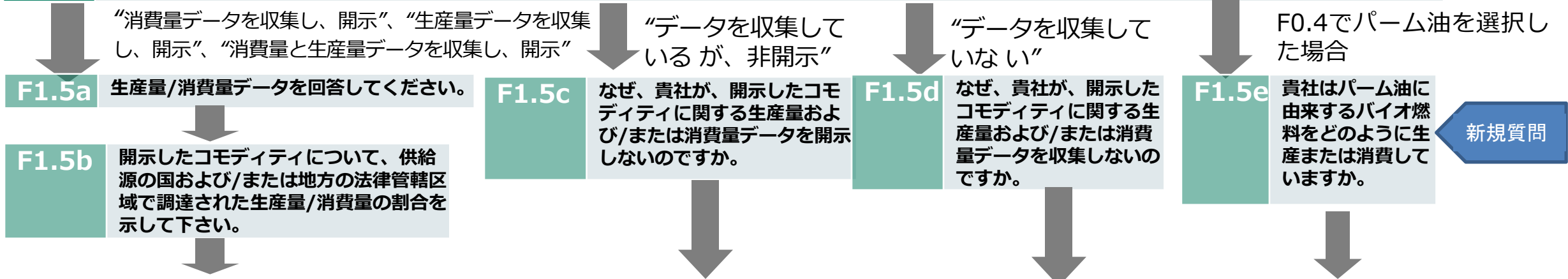
F1.1 貴社が回答するコモディティについて、どのように生産／使用／販売していますか。

F1.2 回答する森林リスクコ・モディティに関連する、報告年における御社の収益の割合を回答してください。

F1.3 回答するコモディティの生産に使用される土地を所有または管理していますか。
F0.4で[生産]を選んだ場合

F1.4 報告年に開示したコモディティの生産のために使用されていない、貴社が管轄および/または管理する土地に関する詳細を記入。
F0.4で[生産]を選んだ場合

F1.5 貴社は、回答するコモディティの生産量や消費量のデータを収集していますか。



F1.6 貴社は森林関連の悪影響を被ったことがありますか。

F1.6a 貴社が被った森林関連の悪影響の内容と、それへの対応、総合的な財務上の影響について回答してください。
はい

いいえ

新規質問



F1 現在の状態

F1.1 貴社が回答するコモディティについて、どのように生産／使用／販売していますか。

<回答依頼内容>

森林リスク・コモディティ	事業活動	コモディティの形態	発生源	供給源の国/地域	調達コストの割合	コメント
F0.4で選択した森林リスク・コモディティから自動入力	該当するものをすべて選択: ● 表の下に示されているドロップダウンリスト	該当するものをすべて選択: ● 表の下に示されているドロップダウンリスト	該当するものをすべて選択: ● 所有/管理している土地 ● 小規模農家 ● 単発契約の生産者 ● 複数契約の生産者 ● 貿易業者/ブローカー/コモディティ市場 ● 契約サプライヤー(加工業者) ● 契約サプライヤー(メーカー) ● その他、具体的にお答えください	該当するものをすべて選択: [国/地域のリスト] ● 供給源不明	選択肢: ● <1% ● 1~5% ● 6~10% ● 11~20% ● 21~30% ● 31~40% ● 41~50% ● 51~60% ● 61~70% ● 71~80% ● 81~90% ● 91~99%	文章記入欄[最大2,400文字]
<div> <ul style="list-style-type: none"> ● 原材料の栽培・生産 ● 収穫 ● 製粉 ● 粉碎 ● 精製・加工 ● 精製・分別 </div> <div> <ul style="list-style-type: none"> ● 輸出/取引 ● 発電用の製造工程への投入物として使用 ● 製品製造への投入物として使用 ● 建設用に使用 ● 製造済み製品の購入 ● 配送/包装 ● コモディティまたはコモディティを含む製品の小売/販売 ● 食肉処理 [畜産品(牛)のみ] ● 革なめし [畜産品(牛)のみ] ● 牛脂の精製 [畜産品(牛)のみ] ● その他、具体的にお答えください </div> <div> <p>木材製品:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 広葉樹丸太 ● 針葉樹丸太 ● 製材された木材、ベニヤ、チップ ● 未加工木材ファイバー ● パルプ ● 紙 ● 板材、合板、加工木材 ● 一次梱包材 ● 二次梱包材 ● 三次梱包材 ● セルロースベースの繊維繊維 ● 木質バイオエネルギー ● 非再販製品(GNFR) <p>パーム油*:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 生鮮果房(FFB) ● 粗パーム油(CPO) ● 粗パーム核油(CPO) ● パーム核粕(PKM) ● 精製パーム油 ● パーム油誘導体 ● パーム核油誘導体 ● パーム由来のバイオディーゼルの </div> <div> <p>畜産品(牛)*:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 牛 ● 牛脂 ● 牛肉 ● 副産物(例:グリセリン、ゼラチン) ● 皮革 ● 牛脂由来のバイオディーゼルの <p>大豆*:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 未加工の大豆 ● 大豆油 ● 大豆粕 ● 大豆誘導体 ● 大豆由来のバイオディーゼルの <p>● その他、具体的にお答えください</p> </div>						



F1 現在の状態

F1.1 貴社が回答するコモディティについて、どのように生産／使用／販売していますか。

<スコアリング基準>

	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ
採点基準	<p>[コメント]欄を除き、記入したセルごとに1点を付与</p> <p>各森林リスク・コモディティに対して5点を獲得可能</p>	<p>情報開示が3点以上</p> <p>i)[活動]欄を回答：1点 ii)[コモディティの形態]欄を回答：1点 iii)[発生源（調達先）]欄を回答：1点 iv)[原産国／原産地]欄で[不明]以外を回答：1点 v)[調達コストの割合]欄で[不明]以外を回答、もしくは、質問F0.4の[サプライチェーンの段階]欄で[生産]のみを選択したコモディティに対して、[該当なし]を選択：1点</p> <p>各森林リスク・コモディティに対して5点を獲得可能</p>	<p>認識が満点：1点</p>	<p>採点対象外</p>
配点	5	5	1	0



F1 現在の状態

F1.2 回答する森林リスク・コモディティに関連する、報告年における貴社の収入の割合を回答してください。

<回答依頼内容>

森林リスクコモディティ	コモディティに依存する収入の割合	コメント
選択肢: F0.4で選択した森林リスク・コモディティのリスト	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> • <1% • 1-5% • 91-99% • 100% 	文章記入欄[最大2,400文字]

<スコアリング基準>

	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ
採点基準	[コモディティに依存する収入の割合]を回答している：1点	[コモディティに依存する収入の割合]を回答している：2点	0	0
配点	1	2	0	0



F1 現在の状態

F1.3 開示したコモディティの生産のために使用され、貴社が管轄および/または管理する土地地域に関する詳細を記入してください。

<回答依頼内容>

F0.4の回答で[生産]を選択した場合のみ、この質問が表示

森林リスク・コモディティ	管理方法	国/地域	土地の種類 [製紙および林業セクターのみ]	面積 (ヘクタール)
選択肢: F0.4で選択した森林リスク・コモディティから作成されたリスト	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> ● 所有している ● コンセッション/リース ● 契約栽培農家 ● スキーム/プラズマ小規模農家 [パーム油のみ] ● その他の管理方法について詳述してください 	選択肢: [国/地域のリスト]	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> ● 管理された自然林 ● 植林 ● その他、具体的にお答えください 	数値記入欄[最大小数点第2位を用いて、0~999,999,999,999の数字を入力]

認証を受けた土地の割合	認証プログラム	報告年中の自然生態系の転換	報告年中に転換された面積(ヘクタール)	自然林に覆われていた割合	説明してください
数値記入欄[最大小数点第2位を用いて、0~100の数字を入力]	該当するものをすべて選択: <ul style="list-style-type: none"> ● 表の下に示されているドロップダウンリスト 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> ● はい ● いいえ ● 不明 	数値記入欄[最大小数点第2位を用いて、0~999,999,999,999の数字を入力]	数値記入欄[最大小数点第2位を用いて、0~100の数字を入力]	文章記入欄[最大2,400文字]



F1 現在の状態

F1.3 開示したコモディティの生産のために使用され、貴社が管轄および/または管理する土地地域に関する詳細を記入してください。

<スコアリング基準>

	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ
採点基準	<p>a) [報告年中の自然生態系の転換]欄で[はい]を選択した場合、9点満点中9点が獲得可能</p> <p>b) [報告年中の自然生態系の転換]欄で[いいえ]または[不明]を選択した場合、7点満点中7点が獲得可能</p> <p>森林リスク・コモディティごとに1行のみが評価対象</p>	<p>情報開示ポイントが6点以上必要</p> <p>その上で、</p> <p>i) [報告年中の自然生態系の転換]欄で[はい]または[いいえ]を選択：1点</p> <p>各森林リスク・コモディティに対して1点獲得可能</p> <p>森林リスク・コモディティ1つにつき1行のみが評価対象</p>	<p>森林リスク・コモディティごとにすべての行に以下の内容を回答している場合、マネジメントポイントが付与：</p> <p>i) [国/地域]欄で国/地域を選択 - 0.5点</p> <p>ii) [面積(ヘクタール)]欄に0より大きな数を入力：0.5点</p> <p>iii) [認証を受けた土地の割合]欄に数値を入力：0.5点</p> <p>iv) [報告年中の自然生態系の転換]欄で[はい]または[いいえ]を選択：0.5点</p> <p>追加する行の数に関わらず、各森林リスク・コモディティに対して2点獲得可能</p>	採点対象外
配点	9,7	1	2	0



F1 現在の状態

F1.4 報告年に開示したコモディティの生産のために使用されていない、貴社が管轄および/または管理する土地に関する詳細を記入してください。

＜回答依頼内容＞

F0.4の回答で[生産]を選択した場合にのみ、この質問が表示

森林リスク・コモディティ	国/地域	管理方法	土地の種類	面積（ヘクタール）	自然林に覆われていた割合	説明してください
選択肢: F0.4で選択した森林リスク・コモディティから作成されたリスト	選択肢: [国/地域のリスト]	選択肢: ● 所有している ● コンセッション/リース ● その他の管理方法について 詳述してください	選択肢: ● 休耕地 ● 森林リスク・コモディティ生産のために大規模に転換される可能性がある自然生態系 ● 森林リスク・コモディティ生産の可能性がある劣化した地域/放棄地域 ● その他の土地の種類、具体的にお答えください	数値記入欄[最大小数点第2位を用いて、0～999,999,999,999の数字を入力]	数値記入欄[最大小数点第2位を用いて、0～100の数字を入力]	文章記入欄[最大 2,400文字]

＜スコアリング基準＞

	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ
採点基準	記入したセルごとに1点付与 各森林リスク・コモディティに対して6点を獲得可能 森林リスク・コモディティ1つにつき1行のみが評価対象	情報開示ポイントが満点- 1点 森林リスク・コモディティ1つにつき1行のみが評価対象 各森林リスク・コモディティに対して1点が獲得可能	認識ポイントが満点 森林リスク・コモディティごとにすべての行に以下の内容を回答している場合: i) [国/地域]欄で国/地域を選択 - 0.5点 ii) [土地の種類]欄でいずれかの選択肢を選択。[その他の土地の種類、具体的にお答えください]の選択肢を選択された場合、土地の種類の記入が必要 - 0.5点 iii) [面積(ヘクタール)]欄に0以上の数を入力 - 0.5点 iv) [自然林に覆われていた割合]欄に数値を入力 - 0.5点 追加する行の数に関わらず、各森林リスク・コモディティに対して2点獲得可能	採点対象外
配点	6	1	2	0

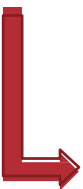


F1 現在の状態

F1.5 貴社は、回答するコモディティの生産量や消費量のデータを収集していますか。

<回答依頼内容>

森林リスクコモディティ	データの入手可能性／開示
F0.4で選択した森林リスク・コモディティ	選択肢 <ul style="list-style-type: none"> 消費量データを収集し、開示 生産量データを収集し、開示 消費量と生産量データを収集し、開示 データを収集しているが、非開示 データを収集していない



[消費量データを収集し、開示]／[生産量データを収集し、開示]／[消費量と生産量データを収集し、開示] ⇒F1.5aへ

[データを収集しているが、非開示] ⇒F1.5bへ

[データを収集していない] ⇒F1.5cへ

<スコアリング基準>

	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ
採点基準	[データの入手可能性／開示]を回答	[データの入手可能性／開示]欄で、[データを収集していない]以外を選択：1点	[データの入手可能性／開示]欄で、[データを収集しているが、非開示]、[データを収集していない]以外を選択：1点	採点対象外
配点	1	1	1	0



F1 現在の状態

F1.5 a 生産量/消費量データを回答してください。

<回答依頼内容>

F1.5で、[消費量データを収集し、開示]、[生産量データを収集し、開示]、[消費量と生産量データを収集し、開示]を選択した場合にのみ表示

森林リスクコモディティ	データの種類	量	単位	データ対象範囲	説明してください
選択肢: F1.5の「...開示」を選択した森林リスク・コモディティから作成されたリスト	選択肢 ・ 生産量データ ・ 消費量データ	数値回答	選択肢 ・ トン ・ リットル ・ ガロン ・ 丸太相当量 (RWE) ・ 木質原材料相当量 (WRME) ・ 立方メートル ・ 平方メートル ・ その他 (具体的にお答えください)	選択肢 ・ 全ての生産量/消費量 ・ 一部の生産量/消費量	記述式回答

<スコアリング基準>

	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ
採点基準	[説明してください]欄を除き、記入したセルごとに1点付与 各森林リスク・コモディティに対して4点獲得可能 森林リスク・コモディティ1つにつき1行のみが評価対象	情報開示ポイントが満点 i) [量]欄で0より大きい数値を回答：1点 ii) [単位]欄を回答：1点 iii) [データの対象範囲]欄を回答：1点	認識ポイントが満点 a) [データの対象範囲]欄で[全ての生産量/消費量]を回答：2点 b) [データの対象範囲]欄で[一部の生産量/消費量]を回答し、なぜ全ての生産量/消費量について回答できないのか自社固有の説明をしている：2点	採点対象外
配点	4	3	2	0



F1 現在の状態

F1.5 b 開示したコモディティについて、原産地の国および/または地方の法律管轄区域で調達された生産量/消費量の割合を示します。

＜回答依頼内容＞ F1.5で、[消費量データを収集し、開示]、[生産量データを収集し、開示]、[消費量と生産量データを収集し、開示]を選択した場合にのみ表示。

森林リスクコモディティ	原産地の国/地域	州または同等の法律管轄地域	総生産量/消費量のうちの割合	説明して下さい
選択肢: F1.5の「...開示」を選択した森林リスク・コモディティから作成されたリスト	選択肢: ・ 森林リスク国のリスト ・ その他の国/地域 ・ 供給源不明	選択肢: ・ 州/同等の法律管轄区域を具体的に回答 ・ 不明 ・ 開示していない	数値を記入	記述式回答

＜スコアリング基準＞

	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ
採点基準	各行の記入したセルの数に比例して、ポイントを付与。 回答に使用した行の数に関わらず、森林リスク・コモディティごとに4点獲得可能	以下のとおり回答した行の数に比例して、認識ポイントを付与: a) [原産国/原産地]欄で[その他の国/地域]を選択: [総生産量/消費量のうちの割合]欄で0より大きな数を記入: 2点 または b) [原産国/原産地]欄で[その他の国/地域]または[不明]を除くいずれかを選択: [州または同等の法律管轄区域]欄に州/同等の法律管轄区域を記入し、[総生産量/消費量のうちの割合]欄に0より大きな数を記入: 2点 回答に使用した行の数に関わらず、森林リスク・コモディティごとに2点獲得可能	認識ポイントが満点 i) [総生産量/消費量のうちの割合]欄に記入された割合が合計すると100%になる場合: 1点 ii) [説明して下さい]欄に総生産量/消費量のうちの割合を測定するために使用された方法の説明の記入: 1点 森林リスク・コモディティそれぞれにつき2点が獲得可能 基準 ii)に関して、森林リスク・コモディティあたり1行のみ採点対象	採点対象外
25 配点	4	2	2	0



F1 現在の状態

F1.5c なぜ、貴社が、開示したコモディティに関する生産量および/または消費量データを開示しないのですか。

＜回答依頼内容＞ F1.5で、[データを収集しているが、非開示]を選択した場合のみ表示

森林リスクコモディティ	主な理由	説明して下さい
選択肢: F1.5の「...開示」を選択した森林リスク・コモディティから作成されたリスト	選択肢 ・ 製品/サプライチェーンでの森林リスク・コモディティの把握が部分的にしかできていない ・ データは部外秘 ・ その他 具体的に教えてください	記述式回答

[その他、具体的にお答えください]を選択した場合は、指定の空欄にその理由を記入

＜スコアリング基準＞

	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ
採点基準	[主な理由]、[説明してください]それぞれについて1点	情報開示ポイントが満点 [主な理由]欄を回答：1点 森林リスク・コモディティ各行につき1点獲得可能	認識ポイントが満点 a) [主な理由]欄で[製品/サプライチェーンにおける森林リスク・コモディティの把握が部分的]を選択した場合、[説明してください]欄で以下の内容を回答すると2点満点中1点が獲得可能： i) どの生産/消費の分野を対象として、なぜそれを選択したのか ii) いつすべての把握ができるか iii) コモディティを把握するための方法論 b) [主な理由]欄で[データは社外秘]を選択した場合、[説明してください]欄で以下の内容を回答すると2点満点中1点付与： i) このデータを機密だと考える理由の詳細な説明 ii) 将来、この情報を公開にするか、非公開のままか 各森林リスク・コモディティに対して最大2点獲得可能 森林リスク・コモディティ各行につき1点獲得可能	採点対象外
配点	2	1	2（ただし得点できるのは最大1点）	0



F1 現在の状態

F1.5d なぜ、貴社が、開示したコモディティに関する生産量および/または消費量データを収集していないのですか。

＜回答依頼内容＞

F1.5で、[データを収集していない]を選択した場合のみ表示

森林リスクコモディティ	主な理由	説明してください
選択肢: F1.5の「...開示」を選択した森林リスク・コモディティから作成されたリスト	選択肢 <ul style="list-style-type: none"> 森林関連データ収集を実施中 今後2年以内にデータを収集する予定 重要だが、事業上の差し迫った優先事項でない 重要でないと判断し、理由も説明 社内リソースの不足 事業活動に関するデータ不足 森林リスク・コモディティによる森林減少/森林劣化影響についての知識不足 経営陣からの指示がない その他 具体的にお答えください 	記述式回答

＜スコアリング基準＞

	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ
採点基準	[主な理由]、[説明してください] それぞれについて 1点	a) [主な理由]欄で以下を回答：2点 <ul style="list-style-type: none"> 森林関連データ収集を実施中 今後2年以内にデータを収集する予定 重要だが、事業上の差し迫った優先事項でない 重要でないと判断し、理由も説明 社内リソースの不足 b) その他の選択肢を選択す:2点満点中1点を付与 森林リスク・コモディティそれぞれにつき2点獲得可能	<ul style="list-style-type: none"> [主な理由]欄で[森林関連データ収集を実施中]または[今後2年以内にデータを収集する予定]を回答し、以下を説明している：1点 <ul style="list-style-type: none"> i) このデータの収集予定時期 ii) このデータの収集に用いる方法/戦略 iii) このデータを収集するバリューチェーン上の段階 各森林リスク・コモディティに対して点獲得可能	採点対象外
27 配点	2	2	1	0



F1 現在の状態

F1.5e 貴社はパーム油に由来するバイオ燃料をどのように生産または消費していますか。

＜回答依頼内容＞ F0.4の回答で[パーム油]を選択した場合にのみ、この質問が表示

貴社はパーム油に由来するバイオ燃料を生産または消費していますか。	データの種類	生産/消費される量	単位	原産地の国/地域
選択肢: <ul style="list-style-type: none">はいいいえ	選択肢: <ul style="list-style-type: none">(原材料の)生産消費	数値記入欄[最大小数点第2位を用いて、0～999,999,999,999の数字を入力]	選択肢: <ul style="list-style-type: none">リットルガロンその他、具体的にお答えください	選択肢: <ul style="list-style-type: none">森林リスク国のリストその他の国/地域原産地不明
州または同等の法律管轄区域	総生産量/消費量のうちの割合	貴社のバイオ燃料物質の調達先は小規模農家ですか。	コメント	
選択肢: <ul style="list-style-type: none">州/同等の法律管轄区域を具体的に答えます不明開示していない	選択肢: <ul style="list-style-type: none"><1%1～5%6～10%11～20%21～30%31～40%41～50%51～60%61～70%	選択肢: <ul style="list-style-type: none">はいいいえ不明開示していない該当なし	文章記入欄[最大2,400文字]	

＜スコアリング基準＞

情報開示		認識	マネジメント	リーダーシップ
採点基準	a) [貴社はパーム油に由来するバイオ燃料を生産または消費していますか。]欄で[はい]を選択の場合：記入したセルごとに0.5点付与、4点満点中4点が獲得可能 （[コメント]欄は採点対象外）	採点対象外	採点対象外	採点対象外
	b) [貴社はパーム油に由来するバイオ燃料を生産または消費していますか。]欄で[いいえ]を選択の場合：4点満点中4点付与			
1行のみが採点対象				
配点	4	0	0	0



F1 現在の状態

F1.6 貴社は森林関連の悪影響を被ったことがありますか。

「はい」の場合⇒F1.6aへ →情報開示1点獲得 「いいえ」の場合⇒F2へ

F1.6a 貴社が被った森林関連の悪影響の内容と、それへの対応、総合的な財務上の影響について説明します。

＜回答依頼内容＞

森林リスク コモディティ	影響要因の種類	主な影響要因	主な影響	影響の詳細	主な対応	財務上の影響総額	対応の詳細
選択肢: F0.4で選択した森 林リスク・ コモ ディティ	選択肢 ・ 物理的要因 ・ 規制要因 ・ 評判及び 市場要因 ・ 技術的要因	選択肢	選択肢	記述式回答	選択肢	数値回答	記述式回答

＜スコアリング基準＞

	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ
採点基準	各行の記入したセルの数に比例して、ポイントを付与 回答に使用した行の数に関わらず、森林リスク・コモディティごとに7ポイント獲得可能	以下のとおり回答した行の数に比例して、認識ポイントを付与: i) [主な影響要因]、[主な影響]、および[影響の説明] : 1点 ii) [主な対応]および[対応の説明] : 1点 回答に使用した行の数に関わらず、森林リスク・コモディティごとに2点獲得可能	認識が1ポイント以上付与 [影響の説明]欄に、以下の内容を記入: i) 選択した主な影響についての自社固有の説明 : 1点 ii) 影響の規模の提示、例えば影響が実質的かどうか : 1点 森林リスク・コモディティそれぞれにつき2点取得可能です。 森林リスク・コモディティ1つにつき1行のみが評価対象	マネジメントが満点 [対応の説明]欄に対応戦略の自社固有の説明が、以下の内容を含めて記入: i) 関与したステークホルダー : 0.5点 ii) これまでの成果 : 0.5点 iii) [財務上の影響総額]欄に0以外の数値を記入 : 0.5点 iv) [対応の説明]欄に推計額の導出方法の説明を記入 : 0.5点 森林リスク・コモディティそれぞれにつき2点獲得可能 森林リスク・コモディティ1つにつき1行のみが評価対象
配点	7	2	2	2

F2 手順

Procedures

F2.1 貴社は森林関連のリスク評価を実施していますか。

リスク評価を実施

リスク評価を実施していない

Aリスト
要件

F2.1a 森林関連リスクの特定と評価の手順を最もよく表している選択肢を選択してください。

F2.1b 貴社の森林関連リスク評価では、以下のうちのどの問題を考慮していますか。

F2.1c 貴社の森林関連リスク評価では、以下のうち、どのステークホルダーを考慮にいられていますか。

F2.1d 貴社が森林関連リスク評価を実施していない理由は何ですか。

モジュール終了



F2 手順

F2.1 貴社は森林関連のリスク評価を実施していますか。

はいの場合⇒F2.1a, b, cへ （情報開示1点、[はい、森林関連リスクを評価している]を選択して認識1点）

いいえの場合⇒F2.1dへ （情報開示1点）

F2.1a 森林関連リスクの特定と評価の手順を最もよく表している選択肢を選択して下さい。

<回答依頼内容>

F2.1で、[はい]を選択した場合のみ表示

森林リスク コモディティ	バリューチェーン上の段階	対象範囲	リスク評価手順	評価の頻度	どの程度の将来のリスクまで考慮しているか	利用しているツールと手法	説明してください
F0.4で選択した森林リスク・コモディティ	選択肢（複数可） ・ 直接操業 ・ サプライチェーン ・ バリューチェーンのその他の部分 ・ 該当なし	選択肢 ・ 全部 ・ 一部	選択肢 ・ 確立した企業リスク管理フレームワークの一部として評価した ・ その他の全社的なリスク評価システムの一部として評価した ・ 環境リスク評価で評価した ・ 独立した問題として評価した ・ その他（具体的にお答えください）	選択肢 ・ 年に複数回 ・ 年1回 ・ 2年に1回 ・ 3年に1回かそれ以上 ・ 特定されていない	選択肢 ・ 1年以内 ・ 1～3年 ・ 3～6年 ・ 6年超 ・ 不明	選択肢（複数可） ・ 社内的な手法 ・ 社外コンサルタント ・ その他（具体的にお答えください） ・ 不明	記述式回答



F2 手順

【Aリスト要件】

F2.1a 森林関連リスクの特定と評価の手順を最もよく表している選択肢を選択して下さい。

<スコアリング基準>

	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ
採点基準	<p>a) [バリューチェーンの段階]欄で[該当なし]以外を選択：各森林リスク・コモディティに対して各セルを記入することに対して1点、7点満点中7点獲得可能</p> <p>b) [バリューチェーンの段階]欄で[該当なし]を選択：各森林リスク・コモディティに対して[バリューチェーン上の段階]と[説明してください]欄を記入することに対して1点、7点満点中2点獲得可能</p>	<p>情報開示が満点</p> <ul style="list-style-type: none"> - [バリューチェーン上の段階]欄で、[直接操業]と[サプライチェーン]の両方を選択 - F0.4で[生産]のみを選択の場合、[直接操業]を選択 - F0.4で[生産]以外を選択の場合、[サプライチェーン]を選択 <p>i) [対象範囲] 欄を回答：1点</p> <p>ii) [リスク評価手順] 欄で[その他]以外を回答：1点</p> <p>iii) [評価の頻度]欄で[特定されていない]以外を回答：1点</p> <p>iv) [どの程度の将来のリスクまで考慮しているか] 欄で[不明]以外を回答：1点</p> <p>v) [リスクの特定と評価に使用したツールと方法] 欄で[不明]以外を回答：1点</p>	<p>認識が満点</p> <p>i) [対象範囲] 欄で[全部]を回答：1点</p> <p>ii) [リスク評価手順] 欄で[その他]以外を回答：1点</p> <p>iii) [評価の頻度] 欄で[年に複数回]または[年1回]を回答：1点</p> <p>iv) [どの程度の将来のリスクまで考慮しているか] 欄で[6年超]を回答：1点</p> <p>v) [利用しているツールと方法] 欄で[不明]以外を二つ以上選択：1点</p> <p>vi) 選択したツールをどのように使用したのかも含め、ツールの詳細を説明：1点</p>	<p>マネジメントが満点</p> <p>i) リスク評価の際の有効性の詳細を含めて、なぜそのツールを使用しているか、そのツールを選んだ理由の説明：1点</p> <p>ii) リスク評価の際にそのツールを使用した事例（日付と場所を含む）を記載：1点</p>
配点	7	5	6	2



F2 手順

F2.1b 貴社の森林関連リスク評価では、以下のうちのどの問題を考慮していますか。

<回答依頼内容>

F2.1で、[はい]を選択した場合のみ表示

問題	関連性および組み入れ	説明してください
森林リスク・コモディティの入手可能性	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> 関連性があり、常に評価に含めている 関連性があり、時々評価に含めている 関連性があるが、評価に含めていない 関連性はないが、評価に含めている 関連性がない。理由の説明 考慮していない 	文章記入欄[最大2,400文字]
森林リスク・コモディティの品質		
事業活動による生態系や生息環境への影響		
規制		
気候変動		
水セキュリティへの影響		
関税または価格上昇		
市場の喪失		
リーケッジ市場		
森林リスク・コモディティに関連したブランドダメージ		
汚職・不正		
社会的影響		
その他、具体的にお答えください		

2021年より新しい選択肢として追加

以下も留意！

- ・企業に特化した説明
- ・バリューチェーン全体対象か、その理由
- ・特定の組織レベルでの問題の関連性、関連性を定義する方法
- ・問題が現在の問題か、新しい問題か

[関連性があり、常に評価に含めている]、[関連性があり、時々評価に含めている]、[関連性はないが、評価に含めている]を選択した場合

- ・ その問題の評価の詳細
- ・ 評価に使用したツール
- ・ この問題に関連する情報を社内の意思決定にどのように活用しているか

[関連性がない。理由の説明]を選択した場合

- ・ なぜ関連性がないのか企業に特化した説明
- ・ 将来関連する可能性があるかどうか

[関連性があるが、評価に含めていない]を選択した場合

- ・ なぜ評価に含めていないのか企業に特化した説明
- ・ 将来評価する予定について説明



F2 手順

F2.1b 貴社の森林関連リスク評価では、以下のうちのどの問題を考慮していますか。

<スコアリング基準>

	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ
採点基準	[その他]以外の[問題]について、1欄 回答するごとに0.5点	[考慮していない]以外の選択肢の行について、全ての列を記入している行ごとに0.5点を付与 [その他]行は採点対象外	認識が4.5点以上 a) [関連性があり、常に評価に含めている]、[関連性があり、時々評価に含めている]、[関連性はないが、評価に含めている]を選択した場合 <ul style="list-style-type: none"> その問題の評価にかかる説明：0.5点 b) [関連性がない。理由の説明]を選択した場合 <ul style="list-style-type: none"> 現在のところ関連性がない理由と、今後関連性をもつようになると考えられるかどうかについて自社固有の説明を記入：0.5点 c) [関連性があるが、評価に含めていない]を選択した場合 <ul style="list-style-type: none"> 今後それを含める計画があるかどうかを含めて、それを含めていないことについての理由の自社固有の説明を記入：0.25点 	認識が満点、マネジメントが4.5点以上 マネジメントポイントが満点付与されている行ごとに以下のようにポイントを付与 a) [関連性があり、常に評価に含めている]、[関連性があり、時々評価に含めている]、[関連性はないが、評価に含めている]を選択した場合 i) 評価でどのツールを使用したかの説明：0.25点 ii) この問題についての情報が意志決定のために社内どのように活用されているかの説明：0.25点 b) [関連性がない。理由の説明]を選択した場合で、マネジメントポイントが満点の場合：0/0点 [事業活動による生態系や生息環境への影響]および[社会的影響]の問題について：リーダーシップポイントを獲得するには、 [関連性があり、常に評価に含めている] の選択が必要
配点	12	6	6	6



F2 手順

F2.1c 貴社の森林関連リスク評価では、以下のうち、どのステークホルダーを考慮に入れていますか。

＜回答依頼内容＞

F2.1で、[はい]を選択した場合のみ表示

ステークホルダー	関連性及び組み入れ	説明してください
顧客	選択肢 <ul style="list-style-type: none"> ・ 関連性があり、常に評価に含めている ・ 関連性があり、時々評価に含めている ・ 関連性があるが、評価に含めていない ・ 関連性はないが、評価に含めている ・ 関連性がない。理由の説明 ・ 考慮していない 	記述式回答
従業員	以下も留意！ <ul style="list-style-type: none"> ・ 評価に含める理由だけでなく、特定のステークホルダーを考慮に入れる方法、評価手順の一部として、直接エンゲージメントを行ったか ・ エンゲージメントの方法として、パブリックミーティング、サプライチェーンレポートまたはトレーニング、他の組織を通じた促進など、具体的に。 ・ エンゲージメントの時期（例えば、事前に計画した、予定されていたエンゲージメント、必要が生じた時その場その場）。 	<p>[関連性があり、常に評価に含めている]、[関連性があり、時々評価に含めている]、[関連性はないが、評価に含めている]を選択した場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ なぜこのステークホルダーを評価に含めているか ・ ステークホルダーとのエンゲージメントの手法 <p>[関連性がない。理由の説明]を選択した場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ なぜ関連性がないのか企業に特化した説明 ・ 将来関連する可能性があるかどうか <p>[関連性があるが、評価に含めていない]を選択した場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ なぜ評価に含めていないのか企業に特化した説明 ・ 将来評価する予定について点
投資家		
地域社会		
NGO		
地域レベルのその他の森林リスク・コモディティユーザー/生産者		
規制当局		
サプライヤー		
その他（具体的にお答えください）		



F2 手順

F2.1c 貴社の森林関連リスク評価では、以下のうち、どのステークホルダーを考慮に入れていますか。

<スコアリング基準>

	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ
採点基準	[その他]以外の[問題]について、1欄回答するごとに0.5点	[考慮していない]以外を選択した行について、全ての列を記入している行ごとに0.5点付与 [その他]行は採点対象外	<p>認識が3点以上</p> <p>a) [関連性があり、常に評価に含めている]、[関連性があり、時々評価に含めている]、[関連性はないが、評価に含めている]を選択した場合</p> <ul style="list-style-type: none"> なぜこのステークホルダーを評価に含めているかの説明：0.5点 <p>b) [関連性がない。理由の説明]を選択した場合</p> <ul style="list-style-type: none"> このステークホルダーが現在のところ関連性がない理由と、今後関連性をもつようになると考えられるかどうかについての自社固有の説明を記入：0.5点 <p>c) [関連性があるが、評価に含めていない]を選択した場合</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後それを含める計画があるかどうかを含めて、このステークホルダーを含めていないことについての理由の自社固有の説明を記入：0.25点 	<p>マネジメントが2点以上</p> <p>マネジメントポイントが満点付与されている行ごとに以下のようにポイントを付与</p> <p>a) [関連性があり、常に評価に含めている]、[関連性があり、時々評価に含めている]、[関連性はないが、評価に含めている]を選択した場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ステークホルダーとのエンゲージメント方法を記入：0.5点 <p>b) [関連性がない。理由の説明]を選択した場合:</p> <ul style="list-style-type: none"> 当該行についてマネジメントポイントが満点の場合：0/0点 <p>ステークホルダーが[顧客]、[従業員]、[投資家]、および[現地コミュニティ（＝地域社会）]について:リーダーシップポイントを獲得するには、[関連性があり、常に評価に含めている]の選択が必要</p>
配点	8	4	4	4



F2 手順

F2.1d 貴社が森林関連リスク評価を実施していない理由は何ですか。

<回答依頼内容>

F2.1で、[いいえ]を選択した場合のみ表示

森林リスクコモディティ	主な理由	説明してください
F0.4で選択した森林リスク・コモディティ	<p>選択肢</p> <ul style="list-style-type: none"> 森林関連リスク評価を実施中 今後2年以内にリスク評価プロセスを導入する予定 重要だが、事業上の差し迫った優先事項でないため 重要でないと判断し、理由も説明 社内リソースの不足 事業活動に関するデータ不足 森林リスク・コモディティによる森林減少/森林劣化影響についての知識不足 経営陣から指示がないため その他（具体的にお答えください） 	記述式回答

<スコアリング基準>

	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ
採点基準	1欄回答するごとに4点	<p>i) [主な理由]欄で、[森林関連 リスク評価を実施中]/[今後 2年以内にリスク評価プロセスを導入する予定]を回答：4点</p> <p>ii) [説明してください]を回答：4点</p>	<p>[主な理由]欄で、[森林関連リスク評価を実施中]/[今後2 年以内にリスク評価プロセスを導入する予定]を回答し、以下の説明が含まれる場合：2点</p> <p>i) 今後または継続中のリスク評価の適用範囲</p> <p>ii) リスク評価が行われる、および/または完了する時期</p>	0点
配点	8	8	5（ただし得点できるのは2点）	3（ただし得点は0点）



F3 リスクと機会 Risks and opportunities

F3.1 貴社事業の財務または戦略面で重大な影響を及ぼす可能性のある固有の森林関連リスクを特定したことがありますか。



F3.1a 貴社では、事業におよぶ財務または戦略面での重大な影響をどのように定義していますか。

F3.1で「はい」を選択



F3.1b 回答する森林関連リスク・コモディティに関して、事業における財務または戦略面で重大な影響を及ぼす可能性があると特定されたリスクと、そのリスクへの対応の詳細を記載してください。

F3.1で「いいえ」を選択



F3.1c 財務または戦略面で重大な影響を及ぼす可能性のある森林関連リスクにさらされていると考えない理由を回答してください。



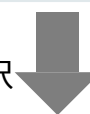
F3.2 貴社事業の財務または戦略面で重大な影響を及ぼす可能性のある森林関連機会を特定したことがありますか。

「はい」を選択



F3.2a 選択した森林関連リスク・コモディティに関して、事業における財務または戦略面で重大な影響を及ぼす可能性があると特定された機会の詳細を回答してください。

「いいえ」もしくは「機会を特定したが、それを実現できない」を選択



F3.2b 森林関連機会があると考えない理由を記載してください。



モジュール終了



F3リスクと機会

リスク

F3.1 貴社事業の財務または戦略面で重大な影響を及ぼす可能性のある固有の森林関連リスクを特定したことがありますか。

「はい」の場合、F3.1aを回答後、⇒F3.1bへ（情報開示1点）

「いいえ」の場合、F3.1aを回答後、⇒ F3.1cへ（情報開示1点）

F3.1a 貴社では、事業におよぶ財務または戦略面での重大な影響をどのように定義していますか。

<回答依頼内容>

記述式回答で、以下の内容を記載する。

- 「**重大な影響**」：以下の側面のいずれか、またはその組み合わせ（影響を受ける事業部門数の比率、その事業部門に対する影響の範囲、その事業部門に対する組織の依存度、株主または顧客に懸念が生じる潜在的可能性）
- 貴社では、**企業レベル**（直接操業、バリューチェーン、その他の部分）について記載）（≠ 施設部門レベル／≠事業部門レベルである必要はない）の「重大な影響」をどう定義しているかについて、運営、収益・費用、資産・負債、資本配置などの側面に触れながら詳しく説明

- 定義の説明では、以下の項目の基準となる閾値を明確に記載する
（大きさ、生じる可能性の高さ、影響の生じる頻度、それらの組み合わせにより、どうなるか）
（但し、事業部門レベルなどの重大な影響が具体的に何か、リスクそのものの詳細についての情報はここでは不要）
- 使用した尺度があればそのすべての詳細を記入し、その尺度を見直し・更新する頻度を報告

<スコアリング基準>

	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ
採点基準	記述すれば1点	記述すれば1点	i) 財務上または戦略上重大な影響の定義：1点 ii) 実質的な変化の特定に使った方法、測定基準、指標：1点 iii) 実質的な変化を表す、測定基準／単位／指標の閾値または変化量：1点 iv) 当該定義が、直接操業またはサプライチェーン、もしくはその両方に適用されるかどうか：1点	採点対象外
配点	1	1	4	0



F3 リスクと機会 リスク

F3.1b 回答する森林リスク・コモディティに関して、事業における財務または戦略面で重大な影響を及ぼす可能性がある」と特定されたリスクと、そのリスクへの対応の詳細を記入します。

＜回答依頼内容（その①）＞

F3.1で、[はい]を選択した場合のみ表示

森林リスク・コモディティ	リスクの種類	地理的スケール	貴社のバリューチェーンのどこでリスク要因が生じますか。	主なリスク要因	主要潜在的影響	自社固有の内容の説明	期間
① 選択肢: F3.1で[はい]を選択した森林リスク・コモディティのリスト	② 選択肢: ・物理的要因 ・規制要因 ・評判および市場要因 ・技術的要因	③ 選択肢: ・全世界 ・地域 ・大農場 ・森林管理単位	④ 選択肢（複数可） ・直接操業 ・サプライチェーン ・バリューチェーンのその他の部分	⑤ 選択肢:	⑥ 選択肢:	⑦ 記述式回答	⑧ 選択肢: ・現在 - 最大1年 ・1～3年 ・4～6年 ・6年より先 ・不明

直接操業にどのように影響が及ぼされているかの**自社固有の説明**

潜在的影響の程度	可能性
⑨ 選択肢: ・高い ・やや高い ・低い ・不明	⑩ 選択肢 ・ほぼ確実 ・可能性が非常に高い ・不明

- ・ **損害の規模と程度**の組み合わせ
- ・ 考慮すべき要因：影響を受ける事業部門の割合、事業部門に対する影響の大きさ、その事業部門に対する企業の依存度、株主または顧客に懸念が生じる潜在的可能性等

例えば、

1) 貴社が今後4～6年で重大な影響を生じるかもしれないが、リスクが顕在化する可能性はあまり高くないと考えられる森林リスク（森林火災など）→「可能性が低い」かもしれない。2) 法案化された新しい法令に関するリスク→影響が発生する可能性は「非常に可能性が高い」かもしれない。



F3 リスクと機会 リスク

F3.1b 回答する森林リスク・コモディティに関して、事業における財務または戦略面で重大な影響を及ぼす可能性がある」と特定されたリスクと、そのリスクへの対応の詳細を記入します。

<回答依頼内容（その②）>

財務上の潜在的影響額 をご回答いただくこと は可能ですか。	財務上の潜在的影 響額(通貨) *	財務上の潜在的影 響額-最小(通貨) **	財務上の潜在的影 響額-最大(通貨) **	財務上の影響についての説明
⑪ 選択肢（複数可） <ul style="list-style-type: none"> はい、単一の推計値 はい、推定範囲 いいえ、このデータはありません 	⑫ 数値回答	⑬ 数値回答	⑭ 数値回答	⑮ 記述式回答 <div> ・財務影響を算出した手法と、計算の前提条件、財務影響が及ぼされる期間を記入 ・[いいえ、このデータはありません]を選択：相対的な用語で財務上の影響の説明を記入するか、財務上の影響の定性的な推定を記載 ・財務上の影響に関する情報が全くない場合、「財務上の影響を定量化していない」を記入 </div>

リスクへの主な対応	対応の詳細	対応の費用	対応の費用についての説明
⑯ 選択肢：	⑰ 記述式回答 <div> 対応戦略を導入する期間、対応戦略が、リスクが顕在化するのを防ぐのにどのように効果的であるかを記入 </div>	⑱ 数値回答	⑲ 記述式回答 <div> ・費用を算出した手法と、計算の前提条件、財務影響が及ぼされる期間 ・[対応の費用]を回答していない場合、費用の相対的な説明や質的な推定を記入 </div>

*⑪の列：[...を回答いただくことは可能ですか。]で[はい、単一の推計値]を選択した場合にのみ表示されます。

** ⑪の列：[...を回答いただくことは可能ですか。]で[はい、推定範囲]を選択した場合にのみ表示されます。



F3 リスクと機会

リスク

F3.1b 回答する森林リスク・コモディティに関して、事業における財務または戦略面で重大な影響を及ぼす可能性がある」と特定されたリスクと、そのリスクへの対応の詳細を記入します。

<スコアリング基準>

	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ
採点基準	<p>各行の記入したセルの数に比例してポイントを付与 回答行の数に関わらず、森林リスク・コモディティのそれぞれについて15点獲得可能</p> <p>[財務上の潜在的影響額をご回答いただくことは可能ですか。]欄と、それに関連した[財務上の潜在的影響額 - (通貨)], [財務上の潜在的影響額 - 最小(通貨)], および[財務上の潜在的影響額 - 最大(通貨)]の各欄では、以下のような組み合わせの場合、1つのセルに回答したものとして採点対象:</p> <ul style="list-style-type: none"> - [財務上の潜在的影響額をご回答いただくことは可能ですか。]欄で、[はい、単一の推計値]を選択 かつ 「財務上の潜在的影響額 - (通貨)」欄に数値を記入 - [財務上の潜在的影響額をご回答いただくことは可能ですか。]欄で、[はい、推定範囲]を選択かつ、 「財務上の潜在的影響額 - 最小 (通貨)」と「財務上の潜在的影響額 - 最大 (通貨)」の各欄に数値を記入 - [財務上の潜在的影響額をご回答いただくことは可能ですか。]欄で、[いいえ、このデータはありません]を選択 	<p>以下のとおり回答した行の数に比例して、認識ポイントを付与</p> <ul style="list-style-type: none"> i) [地理的スケール]および[貴社のバリューチェーンのどこでリスク要因が生じますか。]: 1点 ii) [リスクの種類]、[主なリスク要因]、[主な潜在的影響]、および[自社固有のリスク内容]: 1点 iii) [期間]、[潜在的影響の程度]、および[可能性]欄で、[不明]以外を選択: 1点 iv) [リスクに対する主な対応]と[対応の説明]: 1点 	<p>認識が満点</p> <p>i) [自社固有の説明]欄で、特定した影響に自身の直接操業またはサプライチェーンにどのように影響するかについての自社固有の詳細を含む: 1点</p> <p>[対応の説明]欄に以下内容を含む:</p> <ul style="list-style-type: none"> ii) 対応戦略が実施されているか、あるいは、対応戦略を実施する予定の時期に関する期間: 1点 iii) 潜在的リスク要因の再発を防止するうえで、その対応がどの程度効果的だったか、あるいは効果的であると予想されるかの説明: 1点 <p>森林リスク・コモディティ1つにつき1行のみが評価対象</p>	<p>マネジメントが満点</p> <p>i) [財務上の潜在的影響額をご回答いただくことは可能ですか。]欄で[いいえ、このデータはありません]以外を選択、かつ、金額を計算するために使用される取り組みの説明が、[財務上の影響についての説明]欄に記入: 1点</p> <p>ii) [対応の費用についての説明]欄に、[対応の費用]欄で報告した金額を推定するための方法に関する詳細を記入: 1点</p> <p>森林リスク・コモディティ1点につき1行のみが評価対象</p>
配点	15	4	3	2



F3 リスクと機会 リスク

F3.1c 財務または戦略面で重大な影響を及ぼす可能性のある森林関連リスクにさらされている
と考える理由を回答してください。

<回答依頼内容> F3.1で、[いいえ]を選択した場合のみ表示

森林リスクコモディティ	主な理由	説明してください
F3.1で[いいえ]を選択した 森林リスク・コモディティのリスト	選択肢 ・ リスクはあるが、重大な影響はもたらされないと考えられる。 ・ 評価中 ・ まだ評価していない ・ その他 具体的にお答えください	記述式回答 <div>・ 貴社の評価プロセスについて、質問F2.1a～cへの回答で説明したリスクの特定および評価のプロセスに一致する説明 ・ 貴社に重大な影響を与える可能性のある森林関連リスクが存在しない理由 ・ リスク評価を実施していない具体的な理由 ・ 「評価中」なら評価をいつ完了するか</div>

<スコアリング基準>

	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ
採点基準	1欄回答するごとに3点	[主な理由]欄で、[リスクはあるが、重大な影響はもたらされないと考えられる]／[評価中]を回答し、[説明してください]を回答：3点	a) [リスクは存在するが、重大な影響はもたらさないと考えられる]を選択し、以下の基準を満たした場合：4点 i) [説明してください]欄に、なぜそれが重大ではないのかに関する詳細について事例を含めて説明 ii) F3.1aのマネジメントポイントが満点 iii) モジュールF2でマネジメントとリーダーシップポイントが満点 または b) [評価中]が選択され、[説明してください]欄に以下の内容が含まれる場合：4点満点中1点付与 i) 評価に含まれるリスクの詳細について事例を含めて説明 ii) 評価の完了予定時期を記載	0点
配点	6	3	4	2（ただし得点は0点）

F3 リスクと機会 機会

F3.2 貴社の事業の財務または戦略面で重大な影響を及ぼす可能性のある森林関連機会を特定したことがありますか。

（はいの場合⇒F3.2aへ（情報開示1点、認識1点）

〔はい、機会を特定したが、それを実現できない〕⇒F3.2 bへ（情報開示1点、認識1点）

〔いいえ〕の場合⇒F3.2bへ（情報開示1点）

F3.2a 選択した森林リスク・コモディティに関して、事業における財務または戦略面で重大な影響を及ぼす可能性があると特定された機会の詳細を回答してください。

<回答依頼内容 その①>

F3.2で、〔はい〕を選択した場合のみ表示

森林リスク コモディティ	機会の種類	バリューチェーンのどこで リスク 要因が生じますか。	主な森林 関連機会	自社固有の説明と機会実現の戦略	機会実現までの 推定期間
① 選択肢： F3.2で〔はい〕を選 択した森林リス ク ・コモディティ の リスト	② 選択肢： ・効率性 ・弾力性 ・市場 ・製品および サービス ・金銭的イン センティブ ・その他	③ 選択肢（複数可） ・ 直接操業 ・ サプライチェーン ・ バリューチェーンのその他 部分	④ 選択肢：	⑤ 記述式回答 ・ 貴社に対する 実際の、または予 期されるプラスの利益の詳細 、例 えば戦略上または財務上の影響の 説明など。 ・ その機会が 貴社のどこで発生す るか 、例えば全社規模、一部の所 在地、地理的規模、事業の部門、 または特定の製品やサービスなど。 ・ 機会に関する 「重大な」影響の 定義にかかる説明 。F3.1aで回答し た重大な影響の定義を場合に依じ て参照。	⑥ 選択肢： ・ 現在 - 最大1年 ・ 1～3年 ・ 4～6年 ・ 6年より先 ・ 不明

貴社で、その機会を有利に活用す
るために実施中または計画中的**戦
略**について、現在その行動を実施
中か、開発中かを記入、可能であ
れば、**実施中の戦略の事例**を記載。



F3 リスクと機会 機会

F3.2a 選択した森林リスク・コモディティに関して、事業における財務または戦略面で重大な影響を及ぼす可能性があるかと特定された機会の詳細を回答してください。

<回答依頼内容 その②>

潜在的影響の 程度	可能性	財務上の潜在的影響額 をご回答いただくこと は可能ですか。	財務上の潜在的影響額 (通貨) *	財務上の潜在的影響額 -最小(通貨) **	財務上の潜在的 影響額 -最大(通貨) **	財務上の影 響について の説明
⑦ 選択肢: ・高い ・やや高い ・中程度 ・中程度～低い ・低い ・不明	⑧ 選択肢 ・ほぼ確実 ・可能性が非常に高い ・不明	⑨ 選択肢 (複数可) ・ はい、単一の推計値 ・ はい、推定範囲 ・ いいえ、このデータ はありません	⑩ 数値回答	⑪ 数値回答	⑫ 数値回答	⑬ 記述形式

*10番目の列[情報提供の可否を問う質問]で[はい、単一の推計値]を選択した場合のみ表示されます。

** 10番目の列[情報提供の可否を問う質問]で[はい、推定範囲]を選択した場合のみ表示されます。

貴社の事業に与える影響がどれくらいか。
・ 影響の大きさは、その機会自体とその機会が企業全体にどの程度の範囲で当てはまるかの両方の要素を反映したもの（影響を受ける事業部門の割合、事業部門に対する影響の大きさ、株主または顧客の対応の可能性）
・ 金銭的利益の推定額は、機会を収益に結び付けるためのプロセスを検討する前のもの

- ・ [財務上の潜在的影響](⑩、⑪、⑫の列)に入力した数値を説明
- ・ ⑨の列で[いいえ、このデータはありません]を選択：相対的な用語で（例えば、一般に入手可能な数値に対する比率として）財務上の影響の説明を記入、もしくは財務上の影響の定性的な推定を記載
- ・ 財務上の影響に関する情報がまったくない場合、「財務上の影響を定量化していない」と記入

F3 リスクと機会 機会

F3.2a 選択した森林リスク・コモディティに関して、事業における財務または戦略面で重大な影響を及ぼす可能性がある」と特定された機会の詳細を回答してください。

<スコアリング基準>

	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ
採点基準	<p>記入したセルごとに1点を付与 各森林リスク・コモディティに対して9点獲得可能</p> <p>[財務上の潜在的影響額をご回答いただくことは可能ですか。]欄と、それに関連した[財務上の潜在的影響額 - (通貨)][財務上の潜在的影響額 - 最小(通貨)][および[財務上の潜在的影響額 - 最大(通貨)]の各欄では、以下のような組み合わせの場合、1つのセルに回答したものとして採点対象:</p> <ul style="list-style-type: none"> - [財務上の潜在的影響額をご回答いただくことは可能ですか。]欄で、[はい、単一の推計値]を選択 かつ、「財務上の潜在的影響額 - (通貨)」欄に数値を記入 - [財務上の潜在的影響額をご回答いただくことは可能ですか。]欄で、[はい、推定範囲]を選択 かつ、「財務上の潜在的影響額 - 最小 (通貨)」と「財務上の潜在的影響額 - 最大 (通貨)」の各欄に数値を記入 - [財務上の潜在的影響額をご回答いただくことは可能ですか。]欄で、[いいえ、このデータはありません]を選択 森林リスク・コモディティ1つにつき1行のみが評価対象 	<ul style="list-style-type: none"> • [機会の種類]、[主な森林関連機会]、[自社固有の機会の説明 と、機会実現の戦略] を全て回答：1点 • [機会実現までの推定 期間] を回答：1点 <p>森林リスク・コモディティ1つにつき1行のみが評価対象</p>	<p>情報開示が満点</p> <p>[自社固有の機会の説明と、機会実現の戦略]欄に、以下を含む</p> <p>i) 機会の内容について自社固有の説明:2点</p> <p>ii) 機会実現の戦略についての説明:2点</p> <p>森林リスク・コモディティ1つにつき1行のみが評価対象</p>	<p>マネジメントが2点以上</p> <p>[自社固有の機会の説明と、機会実現の戦略]欄に、以下の内容が記載されている:</p> <p>i) 機会活用のための戦略を実施中か否か:1点</p> <p>ii) 実施中の戦略の事例:1点</p> <p>[財務上の影響についての説明]で以下どちらかを満たしている場合、1点</p> <p>iii.i) 財務上の影響金額をどのように導き出したかの説明:1点または</p> <p>iii.ii) 財務上の影響金額を算出できなかった理由、または[主な森林関連機会]欄で選択した機会との関連で、企業にとって財務的利益が見込まれない理由に関する説明:1点</p>
配点	9	2	4	3



F3 リスクと機会 機会

F3.2b 貴社が森林関連機会はないと考える理由を記載してください。

＜回答依頼内容＞ F3.2で[いいえ]または[はい、機会を特定したが、それを実現できない]を選択した場合のみこの質問が表示

森林リスクコモディティ	主な理由	説明してください
F3.2で[いいえ]または[はい、機会を特定したが、それを実現できない]を選択した森林リスク・コモディティのリスト	選択肢 <ul style="list-style-type: none">機会が存在するが、それを実現することができない機会が存在するが、事業に重大な財務的または戦略的な影響を及ぼす可能性があるものはない評価中重要でないと判断した機会追求について経営陣から指示がないまだ評価していないその他（具体的にお答えください）	記述式回答 <ul style="list-style-type: none">機会を特定したが実現できない：その理由を記入機会は存在するが、事業に重大な財務的または戦略的な影響を及ぼす可能性があるものではない：重大な機会の閾値または定義を詳細を記入し、貴社の評価プロセス（方法やツール、評価を完了したり更新する期間）を記入評価中：機会の評価方法の詳細、評価の完了予定時期を記入重要でないと判断した：事例を記入し、それが貴社の事業に重大な影響を生じる潜在的可能性がないと考える理由を説明機会追及について経営陣から指示がない、まだ評価を実施していない：その具体的な理由、または特定のコモディティに付随する森林関連機会が貴社にとっては存在しない理由などの詳細を含める

＜スコアリング基準＞

	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ
採点基準	1欄回答するごとに1点	[主な理由]欄で、[機会が存在するが、それを実現することができない]、[機会は存在するが、事業に重大な財務的または戦略的な影響を及ぼす可能性があるものはない]または[評価中]を回答し、[説明してください]を回答：1点	認識が満点 [主な理由]欄で、[機会は存在するが、事業に実質的な財務的または戦略的な影響を及ぼす可能性があるものはない]を選択している場合 i) 「重大な機会」の基準となる閾値または定義を説明：1点 ii) 機会の評価方法の詳細：1点 iii) この評価の次回実施予定時期：1点 [主な理由]欄で、[評価中]を選択している場合（最大2/3点） i) 機会の評価方法の詳細：1点 ii) 評価の完了予定時期：1点	マネジメントが満点 特定した機会の事例とそれが重要とみなさない理由にかかる自社固有の説明：1点
配点	2	1	3	1



F4 ガバナンス Governance

F4.1 貴社内で森林関連の問題の取締役会レベルの監督がありますか。

はい

いいえ

F4.1a 取締役会における森林関連問題の責任者の職位を特定します (個人の名前は含めないでください)。

F4.1c 森林関連問題に対して取締役会レベルの監督がない理由および今後変更する予定について回答してください。

F4.1b 森林関連問題に対する取締役会の監督に関する詳細を記入します

いいえ

F4.2 森林関連問題に責任を負う経営層レベルで最上位の職位または委員会を記入します (個人の名前は含めないでください)。

F4.3 森林関連問題の管理に関して、経営幹部レベルまたは取締役にインセンティブを付与していますか。

はい

F4.3a 森林関連問題の管理に関して、経営幹部または取締役にどのようなインセンティブを付与していますか。(ただし個人の名前は含めないでください)

いいえ

F4.4 貴社は、森林関連リスクへの対応に関する情報を直近のメインストリームの財務報告書に含めましたか。



F4 ガバナンス Governance

Aリスト 要件

F4.5 貴社には、森林関連問題を考慮した方針がありますか。

はい、文書化した森林に関する企業方針があり、公開している
はい、文書化した森林に関する企業方針があるが、公開していない

いいえ、しかし今後2年以内に作成する予定
いいえ

F4.5a 貴社の方針の適用範囲と内容について説明する選択肢を選択します。

F4.5b 貴社にはコモディティ固有のサステナビリティ方針がありますか。方針がある場合、適用範囲と内容を最もよく表している選択肢を選んでください。

F4.6 貴社は、直接操業および/またはサプライチェーンからの森林減少および/または森林劣化を削減または排除する誓約を掲げていますか。

はい

Aリスト 要件

F4.6a 貴社は、森林減少および/または森林劣化を削減または排除する誓約の一部として、以下のイニシアチブのいずれかを支援しましたか。

F4.6b 貴社の誓約の詳細を、具体的な基準、対象範囲、アクションの内容を含めて記入します。

いいえ

モジュール終了



F4 ガバナンス 取締役会の監督

F4.1 貴社内で森林関連の問題の取締役会レベルの監督がありますか。

はいの場合⇒F4.1a, bへ (情報開示1点、認識1点)

いいえの場合⇒F4.2cへ (情報開示1点)

F4.1a 取締役会における森林関連の問題の責任者の職位を特定します（個人の名前は含めないでください）。

<回答依頼内容>

F4.1の回答で[はい]を選択した場合にのみ、この質問が表示

個人の職位	説明してください
選択肢 ・ 取締役会議長 ・ 取締役 ・ 最高経営責任者(CEO) ・ 社長 ・ 取締役会レベルの委員会 ・ その他 具体的にお答えください	記述式回答 <div> 選択した職位の責任がどのように森林関連課題と関連しているか 個人/委員会が行った森林関連の意志決定の例を最低一つ </div>

<スコアリング基準>

	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ
採点基準	記入したセル毎に1点	2列とも回答：1点	情報開示が満点	マネジメントが満点
	1行のみ採点	1行のみ採点	[説明してください]欄で個人の責任が森林問題にどのように関連しているかを記載：1点 1行のみ採点	[個人の職位]欄で[その他]以外を選択：1点 上記を満たした上で、[説明してください]欄で、以下を説明：1点 ・ 個人/委員会が行った森林関連の意志決定の例を最低一つ 1行のみ採点
配点	2	1	1	2



F4 ガバナンス 取締役会の監督

F4.1b 森林関連の問題に対する取締役会の監督に関する詳細を記入します。

<回答依頼内容>

F4.1の回答で[はい]を選択した場合にのみ、この質問が表示

森林関連問題が定期的に議題として取り上げられる頻度	森林関連問題が組み込まれているガバナンスのメカニズム	説明してください
選択肢 <ul style="list-style-type: none"> ・ 予定されている - すべての会議 ・ 予定されている - 一部の会議 ・ 不定期 の議題- 重要な事案が生じたとき ・ その他 具体的にお答えください 	選択肢（複数可） <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施と業績のモニタリング ・ 買収と売却の監督 ・ … ・ 業績目標の設定 ・ その他（具体的にお答えください） 	記述式回答 <div> 選択したガバナンスメカニズムが森林課題の取締役会の監督にどのように貢献しているかを記載 </div>

<スコアリング基準>

	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ
採点基準	記入したセル毎に1点付与	情報開示が満点 [森林関連の問題が予定された（＝定期的に）議題として取り上げられる頻度]欄で[その他、具体的にお答えください]以外を選択：1点	認識が満点 [森林関連問題が定期的に議題として取り上げられる頻度]欄で、[予定されている（定期的） - すべての会議]または[予定されている（定期的） - 一部の会議]を選択：1点	マネジメントが満点 以下を満たしている場合、1点 <ul style="list-style-type: none"> ・ [森林関連問題が組み込まれているガバナンスのメカニズム]欄で以下のうち1つ選択 <ul style="list-style-type: none"> - 買収と売却の監督 - 大規模な資本支出の監督 - 年間予算の審査と指導 - 事業計画の審査と指導 - リスク管理方針の審査と指導 - 戦略の審査と指導
配点	3	1	1	1



F4 ガバナンス 取締役会の監督

F4.1c 森林関連の問題の取締役会レベルでの監督がない理由、および今後変更する予定について回答してください。

＜回答依頼内容＞ F4.1の回答で[いいえ]を選択した場合にのみ、この質問が表示

主な理由	今後2年以内に森林関連問題に対する 取締役会レベルの監督を導入予定	説明してください
記述式回答	選択肢 ・ はい ・ いいえ	記述式回答 <div> 森林関連課題に対する取締役会レベルの監督を実施する予定時期およびその方法の詳細を説明 </div>

＜スコアリング基準＞

	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ
採点基準	1欄回答するごとに1点	情報開示が満点 [今後2年以内に森林関連問題に対する取締役会レベルの監督を導入予定]欄で、[はい]を選択：1点	認識スコアが満点 [説明してください]欄で、森林関連課題に対する取締役会レベルの監督を実施する予定時期およびその方法の詳細を説明：1点	0点
配点	3	1	2（ただし得点できるのは1点）	1（ただし得点のは0点）



F4 ガバナンス 取締役会の監督

F4.2 森林関連の問題に責任を負う経営層レベルで最上位の職位または委員会を記入します (個人の名前は含めないでください)。

<回答依頼内容>

職位または委員会	責任	森林関連問題を取締役会に報告する頻度	説明してください
選択肢 ・ 最高経営責任者(CEO) ・ 最高財務責任者(CFO) ・ ・ 森林関連問題に対して経営層レベルの責任者がいません ・ その他(具体的にお答えください)	選択肢 ・ 森林関連リスクと機会の評価 ・ 森林関連リスクと機会の管理 ・ 森林関連リスクと機会の評価および管理の両方 ・ その他(具体的にお答えください)	選択肢 ・ 四半期に1回よりも多い頻度で ・ 四半期に1回 ・ 半年に1回 ・ 年1回 ・ 年1回より少ない頻度で ・ 重要な事案が生じたとき ・ 取締役会に報告なし	記述式回答 <div> ・ 企業組織における職位または委員会の位置づけ ・ [森林関連問題を取締役会に報告する頻度]で回答した内容の説明とその根拠 ・ 選択した[職位または委員会]の森林関連課題についての責任の内容とその根拠 </div>

<スコアリング基準>

	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ
採点基準	[森林関連問題に対して経営層レベルの責任者がいません]以外を選択している場合：1欄回答 毎に1点 (4点満点) [森林関連問題に対して経営層レベルの責任者がいません]を選択している場合：1欄回答 毎に1点 (2点満点) 1行のみ採点	情報開示が3点以上 i) [職位または委員会]欄で、[森林関連問題に対して経営層レベルの責任者がいません]以外を選択：1点 ii) [責任]欄でいずれかを選択：1点 iii) [森林関連問題を取締役会に報告する頻度]欄で[四半期に1回よりも多い頻度]、[四半期]に1回、[半年に1回]、または[年1回]を選択：1点 1行のみ採点	認識が満点 i) [責任]欄で、[森林関連リスクと機会の評価 および管理の両方]を選択：1点 [説明してください]欄で以下を詳述： ii) 企業組織における[職位または委員会]の位置づけ：1点 iii) [森林関連問題を取締役会に報告する頻度]で言及した取締役会への報告書の性質：1点 iv) 選択した[職位または委員会]の森林関連責任：1点 1行のみ採点	マネジメントスコアが満点 以下の基準の両方が満たされている場合に1点： i) [職位または委員会]欄で、経営幹部レベルの職位のいずれかまたは[社長]を選択 ii) [森林関連問題を取締役会に報告する頻度]欄で[四半期に1回]または[四半期に1回よりも多い頻度]を選択 1行のみ採点
53 配点	4, 2	3	4	1



F4 ガバナンス 従業員のインセンティブ

F4.3 森林関連の問題の管理に関して、経営幹部レベルまたは取締役インセンティブを付与していますか。

「はい」の場合⇒F4.3aへ（情報開示1点、認識2点、マネジメント1点）

「いいえ」の場合⇒F4.4へ（情報開示1点、認識「いいえ、今後2年以内に導入予定」で2点）

F4.3a 森林関連の問題の管理に関して、経営幹部レベル役員または取締役にどのようなインセンティブが付与されていますか（個人の名前は含めないでください）。

<回答依頼内容>

F4.3の回答で[はい]を選択した場合にのみ、この質問が表示

インセンティブの種類	インセンティブを得る資格のある役職	実績指標	説明してください
金銭的褒賞	<p>該当するものをすべて選択:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 取締役会議長 ● 取締役会/執行役員会 ● 取締役 ● 経営陣 ● 最高経営責任者(CEO) ● 最高財務責任者(CFO) ● 最高執行責任者(COO) ● 最高調達責任者(CPO) ● 最高リスク管理責任者(CRO) ● 最高サステナビリティ責任者(CSO) ● 最高購買責任者(CPO) ● その他の経営幹部役員 ● その他、具体的にお答えください ● このインセンティブを受ける人物はいない 	<p>該当するものをすべて選択:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 誓約と目標の達成 ● サプライチェーンにおけるエンゲージメント ● その他、具体的にお答えください ● インセンティブの対象となる 実績指標はない 	<p>文章記入欄[最大2,400文字]</p>
非金銭的褒賞			

・ 選択した指標の詳細
・ インセンティブを提供する際の指標の基準値
・ 指標の測定方法

・ 企業固有の事例（インセンティブが貴社にもたらした影響、期待される将来の恩恵）
・ 所定の期間における、選択した森林関連パフォーマンスと金銭的インセンティブの関係（例えば、報告年度末に目標が達成に向けて予定どおりに進捗していれば5%の給与ボーナス）



F4 ガバナンス 従業員のインセンティブ

F4.3a 森林関連の問題の管理に関して、経営幹部レベル役員または取締役にはどのようなインセンティブが付与されていますか（個人の名前は含めないでください）。

<スコアリング基準>

	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ
採点基準	記入したセル毎に1点	いずれか1つの行において、以下の条件の両方が満たされている場合、2点付与 i) [インセンティブを得る資格のある役職]欄で、[このインセンティブを受ける人物はいない]以外を選択 ii) [実績指標]欄で [インセンティブの対象となる業績指標はない]以外を選択	認識ポイントの付与があり、[説明してください]欄に以下の内容を記入した場合、[金銭的褒賞]または[非金銭的褒賞]行に対してマネジメントポイントを付与 i) 選択した指標の詳細：1点 ii) 成功の基準値：1点 iii) 指標の測定方法：1点 1行のみ採点	[金銭的褒賞]行でマネジメントが満点 [金銭的褒賞]行で以下の基準のすべてを満たしている場合、1点： i) [インセンティブを得る資格のある役職]欄で、以下のうちの少なくとも1つの選択肢を選択： - [取締役会議長]- [取締役会/執行役員会]- 「取締役(Director on Board)」- [経営層チーム]- 最高経営責任者(CEO)- [最高財務責任者(CFO)]- 最高執行責任者(COO)- [最高購買責任者(CPO)]- 最高リスク管理責任者(CRO)- 最高サステナビリティ責任者(CSO)- [その他の経営幹部役員] ii) [実績指標]欄で、少なくとも[誓約と目標の達成]を選択 F0.4で、[加工]、[取引]、[製造]、または[小売]を選択した場合、[サプライチェーンとのエンゲージメント]を選択しても得点可 iii) [説明してください]欄に、所定の期間における、選択した森林関連業績と金銭的インセンティブの相関についての詳細(例えば、報告年度末に目標が満たされれば給与ボーナス)を含む説明を記入
5. 配点	6	2	3	1



F4 ガバナンス 報告

F4.4 貴社は、森林関連リスクへの対応に関する情報を直近のメインストリーム財務報告書に含めましたか。

- 「はい」(任意で報告書を添付していただけます) (情報開示1点、認識1点)
- 「いいえ、しかし今後2年以内にそうする予定」 (情報開示1点、認識1点)
- 「いいえ、またその予定もない」 (情報開示1点)

※マネジメント及びリーダーシップレベルは採点対象外

以下ご留意ください！

- メインストリームの財務報告書とは、**有価証券報告書、事業報告書、ディスクロージャー誌**（金融機関）など、**法律で作成が義務付けられている財務情報を記載した報告書**のことです。
- 自主的に作成している、統合報告書、サステナビリティレポート等は該当しません。



F4 ガバナンス 方針

【Aリスト要件】

F4.5 貴社には、森林関連の問題を考慮した方針がありますか。

方針がある場合⇒F4.5a, bへ

「はい、文書化した森林に関する企業方針があり、公開している」（情報開示1点、認識1点、マネジメント1点）

「はい、文書化した森林に関する企業方針があるが、公開していない」（情報開示1点、認識1点）

方針がない場合⇒F4.6へ

「いいえ、しかし今後2年以内に作成する予定」（情報開示1点、認識1点）

「いいえ」（情報開示1点）

・そのタイトルを問わず、森林問題を単独で扱った方針文書、森林問題に関する全社規模の方針が示された『持続可能性に関する方針』などでOK

・サプライヤー行動規範、農業関連方針、環境基準、調達方針等での一部言及は不可

F4.5a 貴社の方針の適用範囲と内容について説明する選択肢を選択します。

＜回答依頼内容＞ F4.5の回答で[はい]を選択した場合にのみ、この質問が表示

スコープ	内容	説明してください
選択肢: ● 全社的 ● 特定の施設、事業、または地域のみ ● 選択した製品のみ	該当するものをすべて選択してください: ● 自然生態系の転換を中止にする誓約 ● 森林減少を撲滅する誓約 ● 森林減少ゼロ、泥炭地への作付けなし、搾取なし(NDPE)に対する誓約 ● 修復、復元、および/または過去の人権侵害の補償に対する誓約 ● 地域社会の権利と生活を保護する誓約 ● 規制順守にとどまらないそれ以上の誓約 ● 透明性に関する誓約 ● ステークホルダーの啓発と協働に対する誓約 ● SDGsと合致するための誓約 ● 森林とその他の自然生態系の全般的な重要性の認識 ● 事業が森林に依存していることの説明 ● 森林とその他の自然生態系に対する潜在的な事業影響の認識 ● 方針の対象となる森林リスク・コモディティ、事業の一部、およびバリューチェーンの段階の説明 ● 期限を定めたマイルストーンと目標のリスト ● 直接操業の森林関連実績基準の説明 ● 調達の森林関連基準の説明 ● その他、具体的にお答えください	文章記入欄[最大2,400文字]

以下の項目を含む詳細を記入

・内容の詳細、また選択肢で選んだ内容がその方針に含まれる理由
 ・対象範囲(方針の対象にされる事業の一部およびバリューチェーンの段階)
 ・見直しおよび更新の頻度
 ・例外があれば、その説明
 ・貴社の方針の対象範囲に含まれる生物群系や生態地域の名前



F4 ガバナンス 方針

F4.5a 貴社の方針の適用範囲と内容について説明する選択肢を選択します。

<スコアリング基準>

	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ
採点基準	記入したセル毎に1点	<p>情報開示で満点</p> <p>[内容]欄で、[その他具体的にお答えください]以外を選択する毎に1点（最大6点）</p> <p>F4.5で[はい、文書化した森林関連方針があるが、公開されていない]を選択：6点満点中最大3点</p> <p>F4.5で、[いいえ]または、[いいえ、しかし今後2年以内に作成する予定]を選択 - 3点満点中0点</p>	<p>認識が3点以上</p> <p>[適用範囲（=スコープ）]欄で[全社的]を選択した場合、あるいは[特定の施設、事業、または地域のみ]を選択し、[説明してください]欄で方針に含めた内容と除外した内容の説明を記入し、含まれていないものに重要なものはない場合：</p> <p>以上を満たした上で、[内容]欄で、以下の選択：</p> <p>i) [自然生態系の転換を中止にする誓約]：1点</p> <p>ii) [森林減少を撲滅する誓約]または[森林減少ゼロ、泥炭地の作付けなし、搾取なし(NDPE)に対する誓約]：1点</p> <p>iii) [地域社会の権利と生計を守る誓約]：1点</p> <p>iv) [修復、復元、および/または過去の人権侵害の補償に対する誓約]：1点</p> <p>v) [期限を定めたマイルストーンと目標のリスト]：1点</p> <p>vi) [方針の対象となる森林リスク・コモディティ、事業の一部、およびバリューチェーンの段階の説明]：1点</p> <p>vii) [説明してください]欄で、方針を見直す、および/または改訂する頻度に関する詳細：1点</p> <p>F4.5で[はい、文書化した森林に関する企業方針があり、公開しています]以外を選択：0/7点</p>	<p>マネジメントが5点以上</p> <p>[対象範囲（=適用範囲／スコープ）]欄で[全社的]を選択</p> <p>[内容]欄で以下の選択肢から最低2つ 選択</p> <ul style="list-style-type: none"> - [規制順守にとどまらないそれ以上の誓約] - [事業が森林に依存していることの説明] - [森林とその他の自然生態系に対する潜在的な事業影響の認識] <p>以上を満たした上で、[説明してください]欄で、以下を説明</p> <p>i) この内容を方針に含めている理由についての自社固有の説明：1点</p> <p>ii) この方針が社内の意志決定にどのように反映させられるかについての自社固有の説明：1点</p> <p>F4.5で「はい、文書化した森林に関する企業方針があり、公開している」以外を選択：0/2点</p>
配点	3	6	7	2



F4 ガバナンス 方針

F4.5b 貴社にはコモディティ固有のサステナビリティ方針がありますか。方針がある場合、適用範囲と内容を最もよく表している選択肢を選んでください。

＜回答依頼内容＞ F4.5の回答で[はい]を選択した場合にのみ、この質問が表示

森林リスク・コモディティ	コモディティ特有の持続可能性方針がありますか？	スコープ	内容	説明してください
F0.4で選択した森林リスク・コモディティから自動入力	選択肢: <ul style="list-style-type: none">● はい● いいえ	選択肢: <ul style="list-style-type: none">● 全社的● 特定の施設、事業、または地域のみ● 選択した製品のみ	該当するものをすべて選択してください: <ul style="list-style-type: none">● 表の下に示されているドロップダウンリスト	文章記入欄[最大2,400文字]

(以下は、「内容」欄の選択肢)

- 自然生態系の転換を中止にする誓約
- 森林減少を撲滅する誓約
- 森林減少ゼロ、泥炭地緑化なし、搾取なし(NDPE)に対する誓約
- 修復、復元、および/または過去の人権侵害の補償に対する誓約
- 地域社会の権利と生計を守る誓約
- 規制順守にとどまらない、それ以上の誓約
- 透明性に関する誓約
- ステークホルダーへの啓発活動とエンゲージメントに対する誓約
- SDGsと合致するための誓約
- 森林とその他の自然生態系の全般的な重要性の認識

- 事業が森林に依存していることの説明
- 森林とその他の自然生態系に対する潜在的な事業影響の認識
- 方針の対象となっている森林リスク・コモディティ、事業の一部、およびバリューチェーンの段階の説明
- 期限を定めた誓約と目標のリスト
- 直接操業の森林関連実績基準の説明
- 調達森林関連基準の説明
- その他、具体的にお答えください

貴社の活動が1つの森林コモディティしか関連しないことが明確である場合には、F4.5aとF4.5b への同内容の記載が許容される場合あり

以下の項目を含む詳細を記入

- ・ 内容の詳細、また選択肢で選んだ内容がその方針に含まれる理由
- ・ 対象範囲(方針の対象にされる事業の一部およびバリューチェーンの段階)
- ・ 見直しおよび更新の頻度
- ・ 例外があれば、その説明
- ・ 貴社の方針の対象範囲に含まれる生物群系や生態地域の名前

F4 ガバナンス 方針

F4.5b 貴社にはコモディティ固有のサステナビリティ方針がありますか。方針がある場合、適用範囲と内容を最もよく表している選択肢を選んでください。

<スコアリング基準>

	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ
採点基準	<p>[コモディティ 特有の持続可能性方針がありますか。]において</p> <p>[はい]を選択した場合 1セル回答ごとに1点 (4点満点)</p> <p>[いいえ]を選択した場合、1セル回答ごとに1点 (2点満点)</p>	<p>情報開示が満点</p> <p>[内容]欄で、[その他具体的にお答えください]以外を選択する毎に0.5点 (最大3点)</p> <p>F4.5で「はい、文書化した森林に関する企業方針があるが、未公開」を選択：1.5/3点</p> <p>F4.5で、[いいえ]または、[いいえ、しかし今後2年以内に作成する予定]が選択されている場合 - 0/3点</p>	<p>認識が1.5点以上</p> <p>[適用範囲 (= スコープ)]欄で[全社的]を選択、または[特定の施設、事業、または地域のみ]を選択した場合、[説明してください]欄で方針に含めた内容と除外した内容の説明を記入し、除外したものに重要なものがない場合、</p> <p>以上を満たした上で、</p> <p>[内容]欄で、以下を選択している場合、それぞれ1点。</p> <p>i) [自然生態系の転換を中止にする誓約]</p> <p>ii) [森林減少を撲滅する誓約]または[森林減少ゼロ、泥炭地の作付けなし、搾取なし(NDPE)に対する誓約]</p> <p>iii) [地域社会の権利と生活を守る誓約]</p> <p>iv) [修復、復元、および/または過去の人権侵害の補償に対する誓約]</p> <p>v) [期限付き誓約および目標のリスト]</p> <p>vi) [方針の対象にしている森林リスク・コモディティ、事業の一部、およびバリューチェーンの段階の説明]</p> <p>vii) [説明してください]欄で、方針の見直しまたは改訂の頻度を説明</p> <p>F4.5で「はい、文書化した森林に関する企業方針があるが、公開していない」を選択：0/7点</p>	<p>マネジメントが5点以上</p> <p>[適用範囲 (= スコープ)]欄で[全社的]を選択</p> <p>[内容]欄で、以下の選択肢から最低2つ選択</p> <ul style="list-style-type: none"> - [規制順守にとどまらない、それ以上の誓約] - [事業が森林に依存していることの説明] - [森林とその他の自然生態系に対する潜在的な事業影響の認識] <p>[説明してください]欄で、以下を説明</p> <p>i) この内容を方針に含めている理由についての自社固有の説明：1点</p> <p>ii) この方針が社内の意志決定にどのように反映させられるかについての自社固有の説明：1点</p> <p>F4.5で「はい、文書化した森林に関する企業方針があるが、公開していない」を選択：0/2点</p>
配点	4, 2	3	7	2



F4 ガバナンス 誓約

F4.6 貴社は、直接操業および／またはサプライチェーンからの森林減少および／または森林劣化を削減または排除する誓約を掲げていますか。

「はい」の場合⇒F4.6a, bへ (情報開示1点、認識1点)
「いいえ」の場合⇒F5モジュールへ (情報開示1点)

F4.6a 貴社は、森林減少および／または森林劣化を削減または排除する誓約の一部として、以下のイニシアチブのいずれかを支援しましたか。

<回答依頼内容> F4.6の回答で[はい]を選択した場合にのみ、この質問が表示

以下の選択肢から該当するものを全て選択

- 森林に関するニューヨーク宣言
 - Tropical Forest Alliance 2020 (TFA: 熱帯森林同盟2020)
 - We Mean Business
 - セラード・マニフェスト
 - 大豆モラトリアム
- 家畜協定(TAC)
 - 中国持続可能な食肉宣言
 - Compromiso Gran Chaco Argentino 2030
 - その他 具体的にお答えください

<スコアリング基準>

	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ
採点基準	いずれかを選択：1点	採点対象外	いずれかを選択：1点	採点対象外
配点	1	0	1	0



F4 ガバナンス 誓約

F4.6b 貴社の誓約の詳細を、具体的な基準、対象範囲、アクションの内容を含めて記入します。

<回答依頼内容>

F4.6の回答で[はい]を選択した場合にのみ、この質問が表示

森林リスク・コモディ	基準	対象事業範囲	生産量/消費量のうち誓約の対象となる割合	期限	誓約目標日	説明してください
F0.4で選択した新リスク・コモディティから作成されたリスト	選択肢 (複数可)	選択肢 ・ 直接操業 ・ サプライチェーン ・ 直接操業とサプライチェーン両方 ・ 特定の施設、事業または地域のみ	選択肢 ・ <1% ・ 1~5% ・ … ・ 91~99% ・ 100%	選択肢 ・ 1987年よりも前 ・ 1987~1992年 ・ … ・ 2018 ・ 該当なし ・ 期限なし	選択肢 ・ 2017年以前 ・ 2017 ・ … ・ 2030より後 ・ 期間なし	記述式回答

<[基準]の選択肢>

環境的基準

- 自然生態系の転換なし
- 総森林減少ゼロ/森林減少なし
- 森林減少の正味ゼロ
- 深さに関わらず、泥炭に対する開発
- 泥炭に対する既存の耕作に関する最良
- 過去の森林減少および/または転換に対
- 絶滅危惧種と保護種や生息環境に対す
- ワシントン条約での規制対象種の取引なし
- 焼畑または皆伐による土地開墾なし
- 高保全価値地域の転換なし
- 高炭素貯蔵林の転換なし

社会的基準

- 先住民と地域社会の「自由意思による、事前の、十分な情報に基づく同意(FPIC)」
- 操業は「先住民の権利に関する国連宣言」に従っています
- 先住民と地域社会に対する悪影響を修正します
- 男女共同参画と女性自立の推進
- 国連国際労働機関原則の採用
- オープンで透明性が高いエンゲージメントプロセスを通じた苦情や対立の解決
- サプライチェーンへの小規模農家の組み入れ促進

法的基準

- 違法に生産された、および/または取引された
- 不明もしくは問題のある調達先からの森林リスク
- 森林リスク・コモディティの調達および/または取引は、信頼できる認証を受けた調達先へのみ制限
- 森林リスク・コモディティの調達および/または取引は、信頼できる認証を受けた調達先へのみ制限
- 森林リスク・コモディティの調達および/または取引は、信頼できる認証を受けた調達先へのみ制限
- その他、貴社にお答えください

[自然生態系の転換なし]の基準は「総森林減少ゼロ」を網羅し、かつそれを超えるものです

「総森林減少ゼロ (gross)」と「森林減少の正味ゼロ (net)」は大きく異なり、意欲のレベルの違いを表します。ガイダンスにて定義をご確認ください。

森林減少なし・自然生態系の転換なしの誓約を実現する年

森林減少・自然生態系の転換を許容しないとす

- ・ 貴社の誓約に関連した詳細情報、例外情報
- ・ 誓約実現のために前年に講じられた措置
- ・ 5番目の列[期限]に記入した期限が主な誓約に対するものである場合、その他の「森林減少/転換なしの誓約」の期限、主な誓約についての根拠
- ・ [期限なし]を選択した場合、理由に関する説明
- ・ どのバイオームまたは生態地域(例えば、セラード バイオーム)が貴社の誓約の対象となっているかに関する詳細



F4 ガバナンス 誓約

【Aリスト要件】

F4.6b 貴社の誓約の詳細を、具体的な基準、対象範囲、アクションの内容を含めて記入します。

＜スコアリング基準＞

	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ
採点基準	1セル回答 するごとに 1点	情報開示が満点 i) [基準]欄で[その他具体的にお答えください]以外を選択、各選択肢毎に0.25点（最大4点） ii) [生産量/消費量のうち誓約の対象となる割合]欄で[1%未満]、[1～5%]、[6～10%]、または[11～20%]以外を選択：1点 iii) [誓約目標日]欄で[目標日なし]以外を選択：1点	次のスライドにて詳述	マネジメントが4点以上 [合計生産量/消費量のうち誓約対象部分の割合]欄で[100%]を選択 i) [基準]欄で、[自然生態系の転換なし]を選択し、この誓約実現のために前年に講じられた措置の事例(地理的情報を含む)を記入：2点 ii) [基準]欄で、[総森林減少ゼロ]を選択し(なお木材製品に関しては[森林減少の正味ゼロ]の選択も可)、この誓約実現のために前年（＝2020年）に講じられた措置の事例(地理的情報を含む)を記入：2点 iii) [基準]欄で、[先住民と地域社会の自由意思による、事前の、十分な情報に基づく同意(FPIC)]を選択し、この誓約実現のために前年に講じられた措置の事例(地理的情報を含む)を記入：2点 iv) [基準]欄で、[過去の森林減少および/または転換に対処するための復元および補正]を選択し、この誓約実現のために前年に講じられた措置の事例(地理的情報を含む)を記入：1点 v) [基準]欄で、[自然生息環境の転換なし]または[総森林減少ゼロ/森林減少なし]を選択し、かつ、[期限]欄に[2008年]またはそれ以前の日付を記入：1点 森林リスク・コモディティごとに1行のみが評価対象 F4.6で[いいえ]を選択 - 7点満点中0点
	森林リスク・コモディティ毎に1行のみ評価対象			
配点	6	6	9	7



F4 ガバナンス 誓約

F4.6b 貴社の誓約の詳細を、具体的な基準、対象範囲、アクションの内容を含めて記入します。

<スコアリング基準>

マネジメント

採点 基準

認識が3.5点以上

以下の条件を満たす（すべての森林リスク・コモディティ共通の基準）

- [誓約目標日]欄で[2031年以降]と[目標日なし]以外を選択
- [合計生産量/消費量のうち誓約対象部分の割合]欄で[81～90%]、[91～99%]、または[100%]のいずれかを選択
- [対象事業範囲]欄で、[直接操業とサプライチェーン]を選択
- F0.4で[生産]のみを選択した場合、[直接操業]を選択しても得点可能
- F0.4で[生産]が選択されていない場合、[サプライチェーン]を選択しても得点可能

以上を満たした上で、

i) [自然生態系の転換なし]と[焼畑または皆伐による土地開墾なし]を選択し、且つ、[期限]欄を記入:2点

ii) [先住民と地域社会の自由意思による、事前の、十分な情報に基づく同意(FPIC)]または[国連国際労働機関原則の採用] - 2点

iii) [違法に生産された、および/または取引された森林リスク・コモディティの調達なし] または [法的および慣習上の土地所有権の認識] を選択: 2点

iv) [説明してください]欄で、選択した基準を満たすために講じられる措置の事例(地理的情報を含む)を記入: 2点

v.i) 木材、畜産品(牛)、大豆の場合: [総森林減少ゼロ/森林減少なし]を選択し、[期限]欄を記入。木材の場合、[森林減少の正味ゼロ]も得点可能: 1点

または

v.ii) パーム油の場合: [総森林減少ゼロ/森林減少なし]および[深さに関わらず、泥炭に対する開発なし]を選択し、且つ、[期限]欄を記入: 1点

森林リスク・コモディティごとに1行のみが評価対象。

F4.6で[いいえ]を選択 - 9点満点中0ポイント

配点

9



F5 事業戦略 Business strategies

F5.1

森林関連問題は、貴社の長期戦略的事業計画に何らかの形で組み込まれていますか。もしそうであれば、どのように組み込まれていますか。



モジュール終了



F5 事業戦略 Business strategies

F5.1 森林関連の問題は、貴社の長期戦略的事業計画に何らかの形で組み込まれていますか。もしそうであれば、どのように組み込まれていますか。

<回答依頼内容>

戦略の側面	森林関連問題が組み込まれていますか。	長期的な対象期間(年)	説明してください
長期的な事業目標	選択肢 ・ はい、森林関連問題が組み込まれている ・ いいえ、森林関連問題について調査したが、戦略的に 関連性がある/重要であるとは認識しなかった ・ いいえ、森林関連問題をまだ調査していないが、今後2 年以内に実施予定 ・ いいえ、森林関連問題を調査せず、実施予定もない	選択肢 ・ 5-10 ・ 11-15 ・ 16-20 ・ 21-30 ・ 30超	記述式回答 <ul style="list-style-type: none"> どのように森林関連課題が組み込まれているのか、企業固有の事例またはケーススタディで説明 [長期的な対象期間(年)]に示した対象期間を選択した理由を説明 これらの計画は貴社が回答したコモディティのすべてに適用されるのか、あるいはその中で特定の物のみに適用されるのかを記入 貴社の計画がコモディティすべてに適用されない場合、理由をここに記入 今後2年以内に森林関連の問題を検討する予定があることを[森林関連問題が組み込まれていますか。]で回答した場合、計画の詳細を記入 事業計画のどの側面にもこれらの問題を組み込んでいない場合、組み込んでいない主な理由を示し、説明を記入
森林関連問題とは：	1) 貴社の直接操業とサプライチェーンからの 森林減少及び生態系転換の排除または削減 2) 貴社の直接操業とサプライチェーンでの 生態系復元／保護の促進 3) 森林リスク・コモディティの持続可能な生産／消費の増加 (市場機会・企業方針・誓約にかかる社内外での検討事項を含む)		
長期的目標達成のための戦略			
財務計画			



F5 事業戦略 Business strategies

F5.1 森林関連の問題は、貴社の長期戦略的事業計画に何らかの形で組み込まれていますか。もしそうであれば、どのように組み込まれていますか。

<スコアリング基準>

	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ
採点基準	<p>[森林関連問題が組み込まれていますか。]について、</p> <p>[はい、森林関連問題が組み込まれている]/[いいえ、森林関連問題について調査したが、戦略的に関連性がある/重要であるとは認識しなかった]を選択している場合、1セル回答するごとに1点（1セルにつき3点満点）</p> <p>上記以外を選択している場合、1セル回答するごとに1点（1セルにつき2点満点）</p>	<p>各行で、[いいえ、森林関連問題を調査せず、実施予定もない]以外を選択し、全ての列を記入している場合、各行につき1点</p>	<p>認識で満点</p> <p>[はい、森林関連問題は統合されています]を選択し、回答が長期的な対象期間と一致し、以下の内容が[説明してください]欄に記入されている各行に対して、マネジメントポイントを付与：</p> <p>i) 森林関連の問題がどのように組み込まれているかについての自社固有の説明：1点</p> <p>ii) 森林関連の問題が戦略的事業計画の側面にどのように組み込まれているかの事例：1点</p>	<p>マネジメントが3点以上</p> <p>i) マネジメントポイントが満点付与の場合：1点</p> <p>ii) すべての行で、[はい、森林関連の問題は組み込まれています]が選択されていて、かつ、[長期的な対象期間(年)]欄で[5～10]以外のいずれかの選択肢を選択した場合：1点</p>
配点	9	3	6	2



F6 実践 Implementation

Aリスト 要件

F6.1 開示したコモディティの持続可能な生産および/または消費を増やすためのもので、報告年において有効だった、期限を定めた定量的な目標を持っていたか。

はい

いいえ

F6.1a 開示したコモディティの持続可能な生産および/または消費を増やすためのもので、期限を定めた定量的な目標と、目標達成に向けた進捗の詳細を記入します。

F6.1b なぜ、開示したコモディティの持続可能な生産量および/または消費量を増やす目標がないのか、そして将来目標を設定する予定の内容はどのようなものか。

Aリスト 要件

F6.2 開示したコモディティの原産地を追跡、監視するために導入しているトレーサビリティシステムがありますか。

はい

いいえ

F6.2a 開示したコモディティについての、貴社がお持ちのトレーサビリティのレベルの詳細を記入します。

F6.3b なぜ、開示したコモディティの原産地を追跡および監視するために導入しているトレーサビリティシステムがないのか、そして将来導入する計画はどのような内容か。

Aリスト 要件

F6.3 開示したコモディティについて第三者認証を採用していますか。

F6.3a 認証スキームを受けた貴社の生産および/または消費の量と割合の詳細内訳を記入します。

新規(項目)質問



F6 実践 Implementation

F4.5 および/またはF4.6で、「はい」を選択

**Aリスト
要件**

F6.4 開示したコモディティについて、森（自然生態系の）転換および/または森林減少なしの誓約の順守を管理、監視、または検証するためのシステムをお持ちですか。

「はい」を選択

「はい」以外を選択

F6.4a [（自然生態系の）転換および/または森林減少なし]の誓約を実践するためのシステム、順守を監視するために使用される手法、定量的進捗、不順守プロトコルに関する詳細を記入します。

F1.1の「国/地域」で、ブラジルを選択し、かつF0.4で、[生産]、[加工]、及び/または[取引]を選択

F6.5 開示したコモディティに関して、ブラジル森林法の貴社自身の順守および/またはサプライヤーの順守に関するデータを収集しているかを説明します。

F6.5の回答で[はい、所有および/または管理した土地から]および/または[はい、サプライヤーおよび所有/管理した土地の両方から]を選択

F6.5の回答で[はい、サプライヤーから]または[はい、サプライヤーおよび所有/管理した土地の両方から]を選択

F6.5a 開示したコモディティに関して、ブラジル森林法への貴社自身の順守を評価するために使用する重要業績評価指標(KPI)と、この指標に対する実績について示します。

F6.5b 開示したコモディティに関して、貴社のサプライヤーのブラジル森林法の順守を評価するために、どの重要業績評価指標(KPI)を使用しているかと、この指標に対する業績について示します。

F1.1の回答で[供給源の国/地域]として以下のうちのいずれかを選択:アンゴラ、アルゼンチン、オーストラリア、ボリビア、ブラジル、カンボジア、カメルーン、中央アフリカ共和国、コロンビア、コンゴ、コートジボワール、コンゴ民主共和国、エクアドル、ガボン、グアテマラ、ギニア、ホンジュラス、インド、インドネシア、ケニア、ラオス人民民主共和国、リベリア、マダガスカル、マレーシア、メキシコ、モザンビーク、ミャンマー、ニカラグア、ナイジェリア、パナマ、パプアニューギニア、パラグアイ、ペルー、フィリピン、タイ、タンザニア連合共和国、ベネズエラ・ボリバル共和国、ベトナム、ザンビア、ジンバブエ。



F6 実践 Implementation

F6.6 開示したコモディティに関して、森林規制および/または必須規格（基準）の貴社自身の順守および/またはサプライヤーの順守を評価しているかどうかを示します。

F6.6の回答で[はい、サプライヤーから]、[はい、サプライヤーおよび/または所有した土地から]、または[はい、サプライヤーおよび所有/管理した土地の両方から]を選択

左記以外を選択

F6.6a 開示したコモディティについて、森林規制および/または必須基準の法令順守をどのように確保しているかを示します。

F6.7 農業のグッドプラクティスを支援し、森林減少および/または自然生態系の転換を削減するために小規模農家と協力していますか。

F0.4で、[加工]、[取引]、[製造]、および/または[販売]を選択

F6.8 森林関連方針、誓約、およびその他の要（件）を順守するために、直接サプライヤーの生産能力を支援し、向上させるように直接サプライヤーとエンゲージメントを行っていますか。

F0.4で[取引]、[製造]および/または[販売]を選択

F6.9 森林減少リスクを管理および緩和するために一次サプライヤーを超えてエンゲージメントを行っていますか。

Aリスト要件



F6 実践 Implementation

Aリスト 要件

F6.10 貴社の森林関連方針と誓約の実行を促進するために、社外の活動および/またはイニシアチブに参加していますか。

F6.11 貴社は、生態系復元や 保護に焦点を合わせたプロジェクトを支援または実施していますか。

はい

いいえ

F6.11a プロジェクトの規模、期間、およびモニタリング頻度に関する 詳細を記入します。 評価した成果を詳述してください。

モジュール終了



F6 実践 目標 【Aリスト要件】

F6.1 開示したコモディティの持続可能な生産および／または消費を増やすためのもので、報告年において有効だった期限を定めた定量的な目標を持っていたか。

はいの場合⇒F6.1aへ（情報開示1点、認識1点）
いいえの場合⇒F6.1bへ（情報開示1点）

F6.1a 開示したコモディティの持続可能な生産および／または消費を増やすためのもので、期限を定めた定量的な目標と、目標達成に向けた進捗の詳細を記入します。

開示した目標が、質問F4.6bで開示した森林関連誓約に関連付けられているかを示す

＜回答依頼内容＞ F6.1の回答で[はい]を選択した場合にのみ、この質問が表示

目標参照番号	森林リスク・コモディティ	目標のタイプ	定量的目標の詳細	関連付けられた誓約	トレーサビリティポイント	第三者認証スキーム
選択肢: ● 目標1～20	選択肢: F0.4で選択した森林リスク・コモディティから作成されたリスト	選択肢: ● トレーサビリティ ● 第三者認証 ● 順守を評価およびまたは/検証 ● 小規模農家とのエンゲージメント ● 直接サプライヤーとのエンゲージメント ● 間接サプライヤーとのエンゲージメント ● 生態系復元 ● その他、具体的にお答えください	文章記入欄[最大1,000文字]	選択肢: ● 森林減少の正味ゼロ(net)/総森林減少ゼロ (gross) ● 自然生態系の転換なし ● その他の環境誓約 ● 社会的誓約 ● 特定の誓約との関連付けなし	選択肢: ● 表の下に示されているドロップダウンリスト	該当するものをすべて選択: ● 表の下に示されているドロップダウンリスト

以下の内容を説明

- ・ 目標の選定理由・計画中の目標達成方法（財政的・人的資源への投資等）
- ・ 第三者認証に関する目標があり、コモディティに関して複数の検証スキームを選択した場合、各認証スキームに関する目標の内訳
- ・ 目標の重要度、企業固有の根拠

開始年	目標年	定量指標	目標(数字)	目標(%)	目標達成度 (%)	説明してください
[YYYY]	[YYYY]	選択肢: ● 絶対数 ● パーセンテージ	数値記入欄[最小小数点第2位を用いて、0～999,999,999,999の数字を入力]	数値記入欄[最小小数点第2位を用いて、0～100の割合を入力]	数値記入欄[最小小数点第2位を用いて、0～100の割合を入力]	文章記入欄[最大2,400文字]



F6 実践 目標

F6.1a 開示したコモディティの持続可能な生産および/または消費を増やすためのもので、期限を定めた定量的な目標と、目標達成に向けた進捗の詳細を記入します。

<スコアリング基準>

	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ
採点基準	<p>1セル回答するごとに1点</p> <p>a) [目標タイプ (=種類)] 欄で、[第三者認証スキーム] または[トレーサビリティ]を選択：9/9点</p> <p>b) [目標の種類] 欄で、[第三者認証スキーム] または[トレーサビリティ]以外を選択：8/8点</p> <p>森林リスク・コモディティごとに1行のみが評価対象</p>	<p>情報開示が7点以上</p> <p>[目標(数字)]または[目標(%)]欄に0より大きな数字を記入</p> <p>i) [開始年] が1951~2020で目標年より前の年：1点</p> <p>ii) [関連づけられた誓約]欄で、[特定の誓約との関連付けなし]以外を選択：1点</p> <p>森林リスク・コモディティごとに1行のみが評価対象</p>	<p>認識が1点以上で、以下の条件を満たす</p> <ul style="list-style-type: none"> - [目標年]欄に2020年以前の年を記入：[目標達成度(%)]欄に100%が記入 - [目標の種類]欄で[第三者認証スキーム]を選択：[第三者認証スキーム]欄で[RTRS certificate trading]、RSPOの[Book and Claim]、および[その他、具体的にお答えください]以外を選択 - [目標の種類]欄で[トレーサビリティ]を選択：[トレーサビリティポイント]欄に[国]、[州または同等の法律管轄区域]、[地方自治体または同等の法律管轄区域]、または[最初の輸入者]以外を選択。F0.4で関連コモディティに関して[小売]および/または[製造]のみを選択：[国]または[最初の輸入者]以外を選択 <p>i.i) [目標(%)]欄に100%と記入：1点、または</p> <p>i.ii) [目標(%)]または[目標(数字)]欄で特定の目標を選択する理由の説明を[説明してください]欄に記入：1点</p> <p>ii) [関連付けられた誓約]欄で、[総森林減少ゼロ/正味森林減少ゼロ]または[自然生態系の転換なし]を選択：1点</p> <p>iii) [目標の種類]欄で、[その他、具体的にお答えください]以外の異なる選択肢の行を3つ以上含む：1点</p> <p>iv) [説明してください]欄に、会社がどのようにこの目標の達成を計画しているか/達成したかの説明を記入：1点</p> <p>森林リスク・コモディティごとに1行のみが評価対象</p>	<p>マネジメントが満点</p> <p>[目標年]欄に2019~2030年の年を記入</p> <p>[目標(%)]欄が当てはまる場合、100%を記入</p> <p>i) 目標への進捗が線形である場合、すなわち、((報告年 - 開始年)/(目標年 - 開始年))*100 ≤ 達成度(%)：2点</p> <p>森林リスク・コモディティごとに1行のみが評価対象</p>
配点	9, 8	2	4	2



F6 実践 目標

※最新・正式なバージョンは、ウェブサイトより英語版を確認してください。



F6.1b なぜ、開示したコモディティの持続可能な生産量および／または消費量を増やす目標がないのか、そして将来目標を設定する予定の内容はどのようなものか。

＜回答依頼内容＞

F6.1の回答で[いいえ]を選択した場合にのみ、この質問が表示

森林リスクコモディティ	主な理由	説明してください
F0.4で選択した森林リスク・コモディティのリスト	選択肢 ・ 今後2年以内に目標を導入する予定 ・ 重要だが、事業上の差し迫った優先事項でないため ・ 重要でないと判断し、理由も説明 ・ 社内リソースの不足 ・ 事業活動に関するデータ不足 ・ 経営陣から指示がないため ・ その他（具体的にお答えください）	記述式回答 <div>下記の＜スコアリング基準＞のマネジメントの採点基準にある内容をここに記載</div>

＜スコアリング基準＞

	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ
採点基準	1セル回答するごとに1点	[主な理由]欄で、[今後2年以内に目標を導入する予定]／[重要だが、事業上の差し迫った優先事項でない]／[社内リソースの不足]／[事業活動に関するデータ不足]を回答し、[説明してください]を回答：1点	[主な理由]欄で、[今後2年以内に目標を導入する予定]を選択し、以下を説明している場合：1点 i) 目標の種類 ii) 生産材または調達材に適用するか iii) 目標の対象範囲 iv) 目標達成のための戦略の説明 v) 目標達成予定日 vi) 目標値に照らして進捗状況を測定するために、どのような指標を使用するかの説明	0点
7 配点	2	1	1	2（ただし得点は0）



F6 実践

トレーサビリティ

【Aリスト要件】



F6.2 開示したコモディティの原産地を追跡、監視するために導入しているトレーサビリティシステムがありますか。

はいの場合⇒F6.2aへ いいえの場合⇒F6.2bへ

<回答依頼内容>

森林リスク・コモディティ	導入しているシステムはありますか。	トレーサビリティシステムの内容	除外	除外の詳細
F0.4で選択した森林リスク・コモディティから自動入力	選択肢: <ul style="list-style-type: none">はい	文章記入欄[最大2,400文字]	該当するものをすべて選択: <ul style="list-style-type: none">国/地理的エリア事業活動施設特定の製品ライン特定のサプライヤー該当なしその他、具体的にお答えください	文章入力欄[最大2,400文字]

貴社の原産地までのトレーサビリティシステムについて、原産地の生物群系（例えば、セラード生物群系）まで特定することが可能か、可能ならそのシステムの使用の実例を1件以上記入。

<スコアリング基準>

	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ
採点基準	1セル回答する毎に1点 a) [除外]欄で[該当なし]を選択：記入したセルごとに1点、満点なら3点獲得可能 b) [除外]欄で[該当なし]以外を選択肢を選択：満点なら4点獲得可能 c) [導入しているシステムはありますか。]欄で[いいえ]を選択：満点なら1点獲得可能	[導入しているシステムはありますか。]欄で[はい]を選択：1点 森林リスク・コモディティの各行につき1点獲得可能	情報と認識が満点 i) [トレーサビリティシステムの内容]欄で、 コモディティのトレーサビリティを確保できるポイントまで遡って森林リスク・コモディティを追跡するために使用された方法の説明 - 2点 質問F6.2aで付与されたマネジメントポイントが0点の場合、本質問では2点満点中1点のみ獲得可能 森林リスク・コモディティ各行につき2点獲得可能	採点対象外
7 配点	4	1	2	0



F6 実践 トレーサビリティ

F6.2a 開示したコモディティについての貴社がお持ちのトレーサビリティのレベルの詳細を記入します。

＜回答依頼内容＞ F6.2の回答で[はい]を選択した場合にのみ、この質問が表示

森林リスク・コモディティ	コモディティのトレーサビリティを確保できるポイント	総生産量/消費量のうちの割合
<p>選択肢:</p> <ul style="list-style-type: none"> F6.2で[はい]を選択した森林リスク・コモディティから作成されたリスト 	<p>選択肢:</p> <ul style="list-style-type: none"> 表の下に示されているドロップダウンリスト 	<p>数値記入欄[0~100の数字を入力]</p>

全般

- 国
- 州または同等の法律管轄区域
- 地方自治体または同等の法律管轄区域
- 追跡不可能

木材製品

- 森林管理単位
- 加工場
- 植林

パーム油

- 加工場
- 粉碎施設
- 大農場
- 精油所
- 最初の輸入者 [小売業者と製造者のみ]

畜産品(牛)

- 皮なめし工場
- 食肉処理場
- 繁殖農場
- 飼育農場
- 肥育農場

大豆

- 農地
- 加工場
- 粉碎施設
- 大農場
- 精油所
- 最初の輸入者 [小売業者と製造者のみ]

その他 - ゴム/ココア/コーヒー

- 農地
- 加工場
- 大農場

複数のレベルのトレーサビリティがある場合、トレーサビリティレベルごとに新しい行を追加します。

例えば、サプライチェーンで異なるレベルのトレーサビリティのあるさまざまな地域から大豆を調達している場合、サプライチェーンでのトレーサビリティのそれぞれの割合を知らせるために行を追加できます (例えば、「農場レベル」に50%、「国レベル」に30%、「追跡不可能」に20%)。



F6 実践 トレーサビリティ

F6.2a 開示したコモディティについての貴社がお持ちのトレーサビリティのレベルの詳細を記入します。

<スコアリング基準>

	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ
採点基準	1セルを回答する毎に1点 森林リスク・コモディティ各行につき2点獲得可能	情報開示が満点 i)[総生産量/消費量のうちの割合(%)]欄で0を超える値を入力：1点 ii)[コモディティのトレーサビリティを確保できるポイント]欄で[追跡不可能]以外を選択：1点 森林リスク・コモディティ各行につき2点獲得可能	認識が満点 [コモディティのトレーサビリティを確保できるポイント]欄で[追跡不可能]、[国]、または[最初の輸入者]を選択した行以外の[総生産/消費量のうちの割合]欄で報告した数値が合計50%以上になる場合、マネジメントポイントを獲得可能 [コモディティのトレーサビリティを確保できるポイント]欄で、[国]、[州または同等の法律管轄区域]、[地方自治体または同等の法律管轄区域]、[最初の輸入者]、または[追跡不可能]以外を選択：1点 (F0.4で、[小売]および/または[製造]のみを選択：得点のためには、[国]、[最初の輸入者]、または[追跡不可能]以外の選択が必要) コモディティ各行につき1点獲得可能 コモディティ毎に1行のみが評価対象	マネジメントが満点 コモディティ毎の[総生産量/総消費量のうちトレーサビリティを確保している割合]欄のすべての行の合計が100% [コモディティのトレーサビリティを確保できるポイント]欄で[国]、[州または同等の法律管轄区域]、[地方自治体または同等の法律管轄区域]、[最初の輸入者]、または[追跡不可能]を選択した行を除いて、すべての森林リスク・コモディティ行の[総生産/消費量のうちの割合]欄に記入された数値を合計することで、リーダーシップポイントを獲得可能 (F0.4で、[小売]および/または[製造]のみを選択：[国]、[最初の輸入者]、または[追跡不可能]を選択した行以外のすべての行に関して数値を合計) [総生産量/消費量のうちトレーサビリティを確保している割合]欄で、 <ul style="list-style-type: none"> 木材製品・パーム油が91~100%、畜牛品・大豆が71~100%)の場合：2点 木材製品・パーム油が71~90%、畜牛品・大豆が51~70%)の場合：1点 各コモディティそれぞれにつき2点獲得可能
配点	2	2	1	2



F6 実践 トレーサビリティ

F6.2b なぜ、開示したコモディティの原産地を追跡および監視するために導入しているトレーサビリティシステムがないのか、そして将来導入する計画はどのような内容か。

<回答依頼内容> F6.2の回答で[いいえ]を選択した場合にのみ、この質問が表示

森林リスクコモディティ	主な理由	説明してください
F6.2で[いいえ]を選択した森林リスク・コモディティのリスト	<div>選択肢</div> <ul style="list-style-type: none">今後2年以内に、森林リスク・コモディティの原産地を追跡 し、モニタリングする予定重要だが、事業上の差し迫った優先事項でないため重要でないと判断し、理由も説明社内リソースの不足事業活動に関するデータ不足経営陣から指示がないためその他 (具体的にお答えください)	記述式回答

<スコアリング基準>

	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ
採点基準	1欄回答するごとに1点 森林リスク・コモディティ1点につき1行のみ評価対象	[主な理由]欄で、[今後2年以内に、森林 リスク・コモディティの原産地を追跡 し、モニタリングする予定]／[重要だが 事業上の差し迫った優先事項でないため]／[社内リソースの不足]／[事業活動に関するデータ不足]を回答し、[説明してください]を回答：1点 森林リスク・コモディティ1点につき1行のみ評価対象	[主な理由]欄で、[今後2年以内に、森林リスク・コモディティ の原産地を追跡し、モニタリングする予定]を選択し、以下を説明している場合：1点 ・ 追跡とモニタリングにどのような指標が使用されるかの説明 ・ 導入するための戦略の説明 森林リスク・コモディティ1点につき1行のみ評価対象	0点
配点	2	1	2 (ただし得点できるのは1点)	2 (ただし得点は0点)

F6 実践

認証

【Aリスト要件】

F6.3 開示したコモディティについて第三者認証を採用していますか。

＜回答依頼内容＞

森林リスク・コモディティ	第三者認証スキームが採用されていますか。	総生産量および/または消費量のうち認証を受けた量の割合
F0.4で選択した森林リスク・コモディティから自動入力	選択肢: <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ、このコモディティに対しては第三者認証スキームを採用していません	数値記入欄[0～100の数字を入力]

貴社で生産および/または消費される
コモディティの総量のうち、第三者認
証スキームを採用した量の割合

＜スコアリング基準＞

	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ
採点基準	1欄回答するごとに1点 a) [第三者認証スキームが採用されていますか]欄で[はい]を選択したコモディティ：2点満点中2点獲得可能 b) [第三者認証スキームが採用されていますか]欄で[いいえ、このコモディティに対して第三者認証スキームを採用していません]を選択したコモディティ：1点満点中1点獲得可能	情報開示が満点 i) [第三者認証スキームが採用されていますか]欄で[はい]を選択:1点獲得可能 各森林リスク・コモディティにつき1点獲得可能	i) [総生産/消費量のうち認証を受けた量の割合]欄に記入された割合の合計が70%以上：2点 各森林リスク・コモディティに対して2点獲得可能	i) [総生産/消費量のうち認証を受けた量の割合]欄に記入された割合の合計が90%以上：2点 各森林リスク・コモディティに対して2点獲得可能
配点	2	1	2	2



F6 実践 認証



F6.3a 認証システムを受けた貴社の生産および／または消費の量と割合の詳細内訳を示します。

<回答依頼内容>

質問F6.3の少なくとも1つの行に対する[第三者認証スキームが採用されていますか。]欄で[はい]を選択している場合にのみ、この質問が表示

森林リスク コモディティ	第三者認証スキーム	使用した加工・流通過程管理モデル	総生産量/消費量のうち認証を受けた量の割合	
F0.4で選択した森林 リスク・コモディティ <div> <ul style="list-style-type: none"> ・ FSC、RSPOなどは複数の選択肢がありますが、[FSC（すべての種類）]等、「すべての種類」は各選択肢に対して具体的な量を記入できない場合のみ、選択ください。 ・ 必須の国家基準（インドネシアの持続可能なパーム油(ISPO)等）は質問F6.6aで開示が必要です。 </div>	選択肢 (複数可)	選択肢 ・ アイデンティティ プリザード (IP) ・ セグリゲーション (SG) ・ マスバランス (MB) ・ 認証取引 ・ 該当なし	数値記入欄 <div>「加工・流通過程管理モデル」については、こちらのリンクをご確認ください。</div> <div>[第三者認証スキーム]で選択した選択肢によっては、特定の加工・流通管理モデルが明確でないものがあります。その場合にのみ、この列が表示されます。</div>	
コモディティの形態	認証を受けた生産量/消費量	単位	二つ以上のスキームの認証を受けていますか	説明してください
選択肢 (複数可)	数値記入欄	選択肢 ・ メートルトン ・ リットル ・ ガロン ・ 丸太相当量 (RWE) ・ 木質原材料相当量 (WRME) ・ 立方メートル ・ 平方メートル ・ その他 (具体的にお答えください)	選択肢 ・ はい ・ いいえ ・ 不明	記述式回答 <div> 以下などを記載： <ul style="list-style-type: none"> ・ 第三者認証システムを改善および／または維持するために前年に講じた措置 ・ 2つ以上のスキームの認証を受けているコモディティ：量、総量の割合、この量が認証を受けているスキーム </div>

本質問の記載方法の事例については、[報告ガイダンス \(リンク\)](#) もしくは2020年-2021年 フォレスト 質問書 & スコアリング変更点 ([リンク](#)) を参照。



F6 実践 認証

F6.3a 認証システムを受けた貴社の生産および／または消費の量と割合の詳細内訳を示します。

<スコアリング基準>

	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ
採点基準	<p>1欄回答するごとに1点</p> <p>a) [第三者認証スキーム]欄の選択した選択肢に対して[使用される加工・流通過程管理モデル]が当てはまる各森林リスク・コモディティに対して8点満点中8点獲得可能</p> <p>b) [使用される加工・流通過程管理モデル]が当てはまらない各森林リスク・コモディティに対して7点中7点を獲得可能</p> <p>森林リスク・コモディティ毎に1行のみが評価対象</p>	<p>情報開示が満点</p> <p>i) [第三者認証スキーム]欄で、[その他、具体的にお答えください]以外を選択：1点</p> <p>ii) [総生産量/消費量のうち認証を受けた量の割合]欄に0を超える値を入力：1点</p> <p>F6.3で[はい]が選択されていない - 2点満点中0点</p> <p>森林リスク・コモディティ毎に1行のみが評価対象</p>	<p>認識が満点</p> <p>a)[使用される加工・流通過程管理モデル]欄が選択した第三者認証スキームに当てはまる場合：</p> <p>i) [使用される加工・流通過程管理モデル]欄で、[認証取引]以外を選択。[該当なし]を選択の場合、[説明してください]欄に関連する理由を記入：2点</p> <p>ii) [説明してください]欄で、第三者認証システムの改善および／または維持のために前年に講じた措置を説明：1点</p> <p>または</p> <p>b) [使用される加工・流通過程管理モデル]欄が当てはまらない場合：</p> <p>i) [第三者認証スキーム]欄で、[RSPO Book and Claim]、[RTRS certificate trading]、[すべての種類]以外を選択：2点</p> <p>ii) [説明してください]欄で、第三者認証システムの改善および／または維持のために前年（＝2020年）に講じた措置を説明：1点</p> <p>森林リスク・コモディティ毎に1行のみが評価対象</p> <p>F6.3で[はい]が選択されていない：4点満点中0点</p>	<p>マネジメントが満点</p> <p>i) [総生産/消費量のうち認証を受けた量の割合]欄に記入されたすべての割合の合計がF6.3に記入された割合以上。</p> <p>割合がF6.3に記入された割合より大きい場合、[2つ以上のスキームの認証を受けていますか]欄の1つ以上の行で[はい]を選択</p> <p>: 1点</p>
配点	8, 7	2	4	1



F6 実践

検証システム

【Aリスト要件】

F6.4 開示したコモディティについて、森（自然生態系の）転換および／または森林減少なしの誓約の順守を管理、監視、または検証するためのシステムをお持ちですか。

＜回答依頼内容＞ F4.5および/またはF4.6の回答で[はい]を選択した場合にのみ、この質問は表示

森林リスク・コモディティ	順守を管理、監視、または検証するためのシステム	コメント
F0.4で選択した森林リスク・コモディティから自動入力	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> ● はい、転換および/または森林減少の誓約について実施中のシステムがあります ● はい、実施中のシステムがありますが、その他の誓約に関する ● いいえ、しかし今後2年以内に作成する予定 ● いいえ 	文章記入欄[最大1,000文字]

これらの誓約は、F4.6bでの「自然生態系の転換なし」、「総森林減少ゼロ (gross)/森林減少なし」、および/または「森林減少の正味ゼロ (net)」と一致する必要があります。

＜スコアリング基準＞

	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ
採点基準	[順守を監理、監視、または検証するためのシステム]欄で、いずれかの選択肢を選択：1点 [コメント欄]は採点対象外 森林リスク・コモディティ各行につき1点獲得可能	情報開示が満点 i) [順守を監理、監視、または検証するためのシステム]欄で、[はい、転換および／または森林減少なしの誓約について実施中のシステムがあります]を選択：1点 森林リスク・コモディティ各行につき1点獲得可能 F4.5で、[いいえ、しかし今後2年以内に作成する予定]または[いいえ]が選択され、かつF4.6で[いいえ]を選択：1点満点中0点	採点対象外	採点対象外
配点	1	1	0	0



F6 実践 検証システム

F6.4a 「（自然生態系の）転換および／または森林減少なし」の誓約を実践するためのシステム、順守を監視するために使用される手法、定量的進捗、不順守プロトコルに関する詳細を記入します。

＜回答依頼内容＞ F6.4の回答で[はい、（自然生態系の）転換および／または森林減少なしの誓約について実施中のシステムがあります]を選択した場合にのみ、この質問が表示

森林リスク コモディティ	対象事業範囲	管理システムの 内容	モニタリングと検証方法	順守されている総量の割合
F6.4で選択した森林リスク・コモディティから 作成されたリスト	該当するものを全て選択： ・直接操業 ・サプライチェーン ・特定の施設、事業、 または地域のみ	記述式回答 モニタリング と検証方法に 関する説明	選択肢（複数可） ・ 地理空間モニタリングツール ・ 地上ベースのモニタリング システム ・ 地域密着型モニタリング ・ 第一者監査 ・ 第二者監査 ・ 第三者監査 ・ モニタリングと検証手法なし ・ その他（具体的にお答えください）	選択肢 ・ <10% ・ 10～20% ・ … ・ 91～99% ・ 100% ・ 不明

順守している総サプライヤーの割合	サプライヤー不順守への対応	サプライヤー不順守に対処し、解決する手順	説明してください
選択肢 ・ <10% ・ 10～20% ・ 100% ・ 不明	該当するものをすべて選択 ・ 保持してエンゲージメントを行う ・ 一時停止してエンゲージメントを行う ・ 除外する ・ 対応なし ・ その他、具体的にお答えください	該当する全て選択 ・ サプライヤーを順守状態に戻すための期限付き目標とマイルストーンの作成 ・ 不順守に対処するために講じることができる適切な措置に関する情報の提供 ・ 一貫した数値的な尺度を通じた不順守サプライヤーの措置の有効性と取り組みの評価 ・ 良好で検証可能な活動完了に基づいたサプライヤーのサプライチェーンへの再組み入れ ・ その他、具体的にお答えください	記述式回答 ・ モニタリング頻度を含む、貴社のモニタリングと検証手法に関する追加情報。 ・ 不順守の評価基準、重大性による対応の違い、サプライヤーへの支援内等。

F6 実践 検証システム

F6.4a 「（自然生態系の）転換および／または森林減少なし」の誓約を実践するためのシステム、順守を監視するために使用される手法、定量的進捗、不順守プロトコルに関する詳細を記入します。

<スコアリング基準>

	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ
採点基準	<p>1欄回答するごとに1点。但し、選択肢によっては満点が相違。</p> <p>a) [対象事業範囲]欄で[サプライチェーン]を選択：8点満点</p> <p>b) [対象事業範囲]欄で[サプライチェーン]を未選択：5点満点</p> <p>森林リスク・コモディティごとに1行のみが評価対象</p>	<p>情報開示が満点</p> <p>i) [モニタリングと検証手法]欄で、[地理空間モニタリングツール]、[地域密着型モニタリング]、[第三者検証]のいずれかを選択：2点</p> <p>ii) [順守されている総量の割合]欄で、[<10%]、[不明]以外を選択：1点</p> <p>森林リスク・コモディティごとに1行のみが評価対象</p>	<p>認識が満点</p> <p>以下の条件を満たす： [対象事業範囲]欄で、[直接操業]と[サプライチェーン]の両方を選択</p> <p>F0.4で[生産]のみを選択の場合： [直接操業]を選択</p> <p>F0.4で[生産]以外を選択の場合： [サプライチェーン]を選択</p> <p>その他の詳細は、別途、次のスライドで説明</p>	<p>マネジメントが満点</p> <p>i.i) [順守されている総量の割合]欄で90%を超える割合の範囲を選択：2点</p> <p>または</p> <p>i.ii) [順守されている総量の割合]欄で[71~80%] または [81~90%] を選択：1点</p> <p>F4.5 及びF4.6 で[はい]が選択されていない、もしくは、F6.4で、[はい、実施中のシステムがあります]以外を選択：2点満点中0点獲得</p> <p>森林リスク・コモディティごとに1行のみが評価対象</p>
配点	8, 5	3	6	2



F6 実践 検証システム F6.4a の続き

<スコアリング基準>

マネジメント

採点基準

前のスライドの続き

a) [対象事業範囲]欄で、[直接操業]のみを選択：

- i) [管理システムの内容]欄に、[モニタリングと検証手法]欄で選択した**モニタリング手法の種類の内容**を記入 - 2点
 - ii) [順守されている総量の割合]欄で**50%を超える割合の範囲**を選択 - 2点
 - iii) [説明してください]欄に、**モニタリング頻度**に関する詳細を記入、すなわち、継続的に、毎月、四半期に1回、年に1回などで行われる場合 - 2点
- b) [対象事業範囲]欄で[サプライチェーン]の選択肢のみを選択、もしくは、[直接操業]と[サプライチェーン]の両方を選択：
- i) [管理システムの内容]欄に、[モニタリングと検証手法]欄で選択した**モニタリング手法の種類の内容**を記入 - 1点
 - ii) [順守されている総量の割合]欄で**50%を超える割合の範囲**を選択 - 1点
 - iii) [説明してください]欄にモニタリング頻度に関する詳細を記入、すなわち、継続的に、毎月、四半期に1回、年に1回などで行われる場合 - 1点
 - iv) [順守されている総サプライヤーの割合]欄で50%を超える割合の範囲を選択 - 1点
 - v) [サプライヤー不順守に対する対応]欄で、[対応なし]または[その他、具体的にお答えください]以外を選択 - 1点
 - vi) [説明してください]欄に、不順守サプライヤーに対する企業の対応が不順守の重大性に応じてどのように変わるかの説明を記入 - 1点

F4.5 及びF4.6 で[はい]が選択されていない、もしくは、F6.4で、[いいえ]を選択：3点満点中0点獲得

F4.5 及びF4.6 で[はい]を選択、および、F6.4で、[はい、実施中のシステムがありますが、その他の誓約に関するものです]、[いいえ、しかし今後2年以内に作成する予定]を選択：3点満点中1点獲得

森林リスク・コモディティごとに1行のみが評価対象



F6 実践 ブラジル森林法

F6.5 開示したコモディティに関して、ブラジル森林法の貴社自身の順守および／またはサプライヤーの順守に関するデータを収集しているかを説明します。

<回答依頼内容>

F1.1の回答で5番目の列[原産国/原産地域]で[ブラジル]を選択した場合、あるいはF0.4の回答で[生産]、[加工]および/または[取引]を選択した場合、この質問は表示

森林リスクコモディティ	ブラジル森林法への準拠に関するデータを収集していますか。	説明してください
F0.4で選択した森林リスク・コモディティ	選択肢: <ul style="list-style-type: none">はい、サプライヤーからはい、所有および/または管理した土地からはい、サプライヤーおよび所有/管理した土地の両方からいいえ、データは収集していません	記述式回答

データの種類、収集方法、
収集頻度、収集技術を説明

[はい、所有および/または管理した土地から]／[はい、サプライヤーおよび所有/管理した土地の両方から]⇒F6.5.aへ

[はい、サプライヤーから]／[はい、サプライヤーおよび所有/管理した土地の両方から]⇒F6.5bへ



F6 実践 ブラジル森林法

F6.5 開示したコモディティに関して、ブラジル森林法の貴社自身の順守および／またはサプライヤーの順守に関するデータを収集しているかを説明します。

<スコアリング基準>

	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ
採点基準	各欄記入につき1点 森林リスク・コモディティ各行につき2点獲得可能	[ブラジル森林法の順守に関するデータを収集していますか]欄で[いいえ、データ収集していません]以外を選択：1点 F0.4で開示した各森林リスク・コモディティに関して、F1.1で行を追加しない場合、または、同質問の[原産国/原産地]のすべての行で[不明]のみを選択：1点満点中0点 森林リスク・コモディティ各行につき1点獲得可能	以下の基準を満たす必要あり： - [ブラジル森林法の順守に関するデータを収集していますか]欄で「[はい、サプライヤーと、所有および/または管理した土地の両方から]」を選択 - F0.4で[生産]のみを選択の場合、[はい、所有および/または管理した土地から]の選択で得点可能 - F0.4で[生産]を選択していない場合、[はい、サプライヤーから]の選択で得点可能 その上で、 i) [説明してください]欄で、ブラジル森林法への順守に関するデータ収集に使った方法および技術を説明を記入：2点 F1.1で行が追加されていない場合、あるいはすべての行の[原産地の国/地]欄で[不明]を選択 - 1点満点中0点	採点対象外
配点	2	1	0, 2	0



F6 実践 ブラジル森林法

F6.5a 開示したコモディティに関して、ブラジル森林法への貴社自身の順守を評価するために使用する重要業績評価指標（KPI）と、この指標に対する業績について示します。

＜回答依頼内容＞ F6.5の回答で[はい、所有および/または管理した土地から]および/または[はい、サプライヤーおよび所有/管理した土地の両方から]を選択した場合にのみ、この質問が表示

森林リスクコモディティ	KPIs	指標に対する業績	説明してください
F6.5で[はい、所有および/または管理した土地から]および/または[はい、サプライヤーおよび所有/管理した土地の両方から]を選択した森林リスク・コモディティ	<p>選択肢（複数可）</p> <ul style="list-style-type: none"> 農村環境登録(CAR)データベースに登録された所有および/または管理した地所の割合 法定保護地(RL)および/または恒久的保護地域(APP)の所有および/または管理した地所の割合 環境規則化プログラム(PRA)の誓約条項に署名した所有および/または管理した地所の割合 2008年7月以降森林減少（グロス）を一切行わなかった所有地および/または管理地の割合 その他、具体的にお答えください 	<p>選択肢:</p> <p><10%</p> <p>11～20%</p> <p>21～30%</p> <p>31～40%</p> <p>41～50%</p> <p>51～60%</p> <p>61～70%</p> <p>71～80%</p> <p>81～90%</p> <p>91～99%</p> <p>100% データを収集していない</p>	記述式回答



F6 実践 ブラジル森林法

F6.5a 開示したコモディティに関して、ブラジル森林法への貴社自身の順守を評価するために使用する重要業績評価指標（KPI）と、この指標に対する業績について示します。

<スコアリング基準>

	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ
採点基準	各行の記入したセルの数に比例して、ポイントを付与	<p>回答した行の数に比例して、認識ポイントを付与</p> <p>i) [KPIs]欄で[その他、具体的にお答えください]以外を選択：2.5点</p> <p>ii) [指標に対する業績]欄で[データを収集していない]以外を選択：2.5点</p> <p>回答するために使用される行の数に関わらず、森林リスク・コモディティごとに5点獲得可能</p>	<p>認識が2点以上</p> <p>i) [KPIs]欄で、[有効な状態の農村環境登録(CAR)データベースに 登録された所有地および/または管理地の割合（%）] を選択：1点</p> <p>ii) [KPIs]欄で、[2008年7月以降に森林減少を一切行わなかった所有地および/または管理地の割合（%）] を選択し、[説明してください]欄で、その割合の測定および監視に使った技術とツールを説明：1点</p> <p>森林リスク・コモディティごとに2点獲得可能 森林コモディティごとに2行が採点対象</p>	<p>マネジメントが満点</p> <p>i) [指標に対する業績]欄で、[81～90%]、[91～99%]または[100%]の選択肢を選択：1点</p> <p>森林リスク・コモディティごとに1行のみが評価対象</p>
配点	3	5	2	1



F6 実践 ブラジル森林法

F6.5 b 開示したコモディティに関し、貴社のサプライヤーのブラジル森林法の順守を評価するためにどの重要業績評価指標（KPI）を使用しているかと、この指標に対する業績について示します。

<回答依頼内容>

F6.5の回答で、[はい、サプライヤーから]または[はい、サプライヤーおよび所有/管理した土地の両方から]を選択した場合にのみ、この質問が表示

森林リスクコモディティ	KPIs	指標に対する業績	説明してください
F6.5で[はい、サプライヤーから]または[はい、サプライヤーおよび所有/管理した土地の両方から]を選択した森林リスク・コモディティ	<p>選択肢（複数可）</p> <ul style="list-style-type: none"> 有効な状態であり、農村環境登録(CAR)データベースに登録されたサプライヤーの割合 法定保護地(RL)および（又は）恒久的保護地域(APP)を持つサプライヤーの割合 環境規則化プログラム(PRA)のコミットメントの条件に署名したサプライヤーの割合 2008年7月以降、総森林減少（グロス）を一切行わなかったサプライヤーの割合 その他、具体的にお答えください 	<p>選択肢:</p> <ul style="list-style-type: none"> <10% 11~20% 21~30% 31~40% 41~50% 51~60% 61~70% 71~80% 81~90% 91~99% 100% データを収集していない 	記述式回答



F6 実践 ブラジル森林法

F6.5b 開示したコモディティに関し、貴社のサプライヤーのブラジル森林法の順守を評価するためにどの重要業績評価指標（KPI）を使用しているかと、この指標に対する業績について示します。

＜スコアリング基準＞

	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ
採点基準	各行の記入したセルの数に比例して、ポイントを付与	<p>回答した行の数に比例して、認識ポイントを付与</p> <p>i) [KPIs]欄で[その他、具体的にお答えください]以外を選択：2.5点</p> <p>ii) [指標に対する業績]欄で[データを収集していない]以外を選択：2.5点</p> <p>回答するために使用される行の数に関わらず、森林リスク・コモディティごとに5点獲得可能</p>	<p>認識が2点以上</p> <p>i) [KPIs]欄で、[有効な状態の農村環境登録(CAR)データベースに登録されたサプライヤーの割合]を選択：1点</p> <p>ii) [KPIs]欄で、[2008年7月以降、森林減少（グロス）を一切行わなかったサプライヤーの割合(%)]を選択し、[説明してください]欄で、その割合の測定および監視に使った技術とツールを説明：1点</p> <p>森林リスク・コモディティごとに2点獲得可能 森林コモディティごとに2行が採点対象</p>	<p>マネジメントが満点</p> <p>i) [指標に対する業績]欄で、[81～90%]、[91～99%]または[100%]の選択肢が選択されている：1点</p> <p>森林リスク・コモディティごとに1行のみが評価対象</p>
配点	3	5	2	1



F6 実践 法令順守

F6.6 開示したコモディティに関して、森林規制および／または必須規格（基準）の貴社自身の順守および／またはサプライヤーの順守を評価しているかどうかを示します。

＜回答依頼内容＞

F1.1の回答で、供給地[国／地域]（原産地）として以下のうちのいずれかを選択した場合のみ、この質問が表示

アルゼンチン、オーストラリア、ボリビア、ブラジル、カンボジア、カメルーン、中央アフリカ共和国、コロンビア、コンゴ、コートジボワール、コンゴ民主共和国、エクアドル、ガボン、グアテマラ、ギニア、ホンジュラス、インド、インドネシア、ケニア、ラオス人民民主共和国、リベリア、マダガスカル、マレーシア、メキシコ、モザンビーク、ミャンマー、ニカラグア、ナイジェリア、パナマ、パプアニューギニア、パラグアイ、ペルー、フィリピン、タイ、タンザニア連合共和国、ベネズエラ・ボリバル共和国、ベトナム、ザンビア、ジンバブエ。

森林リスクコモディティ	森林規制の法令順守を評価しています	コメント
F0.4で選択した森林リスク・コモディティ	<p>選択肢</p> <ul style="list-style-type: none"> はい、サプライヤーから はい、所有および／または管理した土地から はい、サプライヤーと、所有および／または管理した土地の両方から いいえ、法令順守を評価していません 	記述式回答



F6 実践 法令順守

F6.6 開示したコモディティに関して、森林規制および／または必須規格（基準）の貴社自身の順守および／またはサプライヤーの順守を評価しているかどうかを示します。

<スコアリング基準>

	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ
採点基準	<p>[森林規制の法令順守を評価しています]欄でいずれかの選択肢を選択：1点</p> <p>[コメント]欄は採点対象外</p> <p>各森林リスク・コモディティにつき1点が獲得可能</p>	<p>[いいえ、法令順守を評価していません]以外を選択：1点</p> <p>各森林リスク・コモディティにつき1点が獲得可能</p>	<p>以下の条件が満たされた場合、1点</p> <p>a) [森林規制の法令順守を評価しています]欄で、[はい、サプライヤーと、所有および/または管理した土地の両方から]を選択 または b) F0.4で[生産]のみ選択の場合、[はい、所有および/または管理した土地から]の選択で得点可能 または c) F0.4で[生産]の選択でない場合、[はい、サプライヤーから]の選択で得点可能</p> <p>各森林リスク・コモディティにつき1点獲得可能</p>	採点対象外
配点	1	1	1	0



F6 実践 法令順守

F6.6a 開示したコモディティについて、森林規制および／または必須基準の法令順守をどのように確保しているかを示します。

<回答依頼内容>

F6.6の回答で[はい、サプライヤーから]、[はい、サプライヤーおよび/または所有した土地から]、または[はい、サプライヤーおよび所有/管理した土地の両方から]を選択した場合

森林リスクコモディティ	法令順守を確保するための手順	原産地の国／地域	法律および／または必須基準	コメント
F6.6で[はい、サプライヤーから]、[はい、所有および／または管理した土地から] または[はい、サプライヤーおよび所有／管理した土地の両方から]を選択した森林リスク・コモディティ	記述式回答	<p>該当するものをすべて選択</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 森林リスク国のリスト 	<p>該当するものをすべて選択</p> <p>全般</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ オーストラリア違法伐採禁止法 ・ 森林法 - アルゼンチン ・ 森林法 - パラグアイ ・ 森林減少ゼロ法 - パラグアイ ・ 森林および野生生物法 - ペルー ・ ブラジル森林法 [販売業者と製造者のみ] ・ 法令順守の一般的評価 ・ その他、具体的にお答えください <p>木材製品</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 欧州木材規則 米国レイシー法 ・ 日本クリーン・ウッド法 ・ CITES <p>パーム油 ISPO MSPO</p>	<p>記述式回答</p> <p>[任意] 貴社に、今後2年以内に 森林規制順守を評価するツール、方法、または計画がない場合、その理由を 記入</p>

貴社が生産・調達する森林リスク・コモディティが、それぞれ原産国または消費国の森林規制や必須基準(例えば、EU木材規制)を順守していることを確認するために使用されたツールおよび方法について説明

・ 法令順守を確保するためのプロセスのすべてまたは一部で特定の法律に焦点を合わせていない場合、[法令順守の一般的評価]を選択
・ 貴社が検討した法律・必須基準が掲載されていない場合、[その他、具体的にお答えください]を選択。
(記入のための文章記入欄が表示されます。)



F6 実践 法令順守

F6.6a 開示したコモディティについて、森林規制および／または必須基準の法令順守をどのように確保しているかを示します。

＜スコアリング基準＞

	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ
採点基準	<p>各欄記入につき1点</p> <p>[コメント]欄は採点対象外です。</p> <p>各森林リスク・コモディティにつき3点獲得可能</p>	<p>情報開示で満点：1点</p> <p>各森林リスク・コモディティにつき1点獲得可能</p>	<p>F6.6の認識・マネジメントが満点</p> <p>i) [法令順守を確保するための手順]欄に、法令順守を確保するために従った手順の企業固有の説明を記載 - 1点</p> <p>ii) [法令順守を確保するための手順]に、法令順守を確保するために使用された方法および/またはツールを記載： 1点</p> <p>森林リスク・コモディティそれぞれにつき2点が獲得可能</p>	<p>マネジメントが満点</p> <p>i) [法令順守を確保するための手順]欄に、実施している手順が貴社の直接操業とサプライチェーン内で法令順守を確保するのに十分である理由に関する説明を記入： 1点</p> <p>各森林リスク・コモディティに対して1点獲得可能</p>
配点	3	1	2	1



F6 実践 エンゲージメント

F6.7 農業のグッドプラクティスを支援し、森林減少および／または自然生態系の転換を削減するために小規模農家と協力していますか。

<回答依頼内容>

森林リスク・コモディティ	小規模農家とエンゲージメントを行っていますか？	小規模農家とのエンゲージメントの方法の種類	小規模農家とのエンゲージメントの方法	エンゲージメントを行った小規模農家の数	説明してください
F0.4で選択した森林リスク・コモディティから自動入力	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> ● はい、小規模農家とエンゲージメントを行っている ● いいえ、小規模農家とはエンゲージメントを行っていない ● 該当なし パーム油のみ: <ul style="list-style-type: none"> ● はい、独立系の小規模農家とエンゲージメントを行っている ● はい、スキーム/プラズマ小規模農家とのエンゲージメントを行っている 	該当するものをすべて選択: <ul style="list-style-type: none"> ● サプライチェーン・マッピング ● キャパシティビルディング ● 金銭的および商業的インセンティブ ● その他 	該当するものをすべて選択してください: <ul style="list-style-type: none"> ● 以下の表の通りの回答ドロップダウンリスト 	数値記入欄[0～999,999,999,999,999,999,999,999の数字を入力]	文章記入欄[最大2,400文字]

<小規模農家とのエンゲージメントの方法：選択肢>

サプライチェーン・マッピング

- ・環境・社会指標に関するサプライヤーへのアンケート
- ・サプライチェーン・マッピングツールの開発や配布
- ・サプライヤー監査

キャパシティビルディング

- ・現地技術支援と拡張サービスの提供
- ・技術資料を広める
- ・農業投入物の提供
- ・キャパシティビルディング・イベントの企画
- ・パイロットプロジェクトへの投資
- ・土地所有権を明確化し、確保するための小規模農家の支援
- ・森林減少高リスクの小規模農家支援の優先

金銭的および商業的支援

- ・農業ベストプラクティスに関連付けられた高い金額の支払い
- ・認定製品に対する金銭的インセンティブ
- ・農業ベストプラクティスに関連付けられた与信枠の提供
- ・農業ベストプラクティスに関連付けられた購入保証
- ・森林関連コモディティに関連付けられた長期契約

その他

- ・その他、具体的にお答えください。

エンゲージメントの有無によって以下を説明：

●有の場合：エンゲージメントの戦略、その現場で得られたそのインパクトにかかる1つ以上の事例

●無の場合：その理由

●独立系小規模農家とスキーム/プラズマ小規模農家の両方からパーム油を調達している場合：それぞれの種類の数の内訳

F6 実践 エンゲージメント

F6.7 農業のグッドプラクティスを支援し、森林減少および／または自然生態系の転換を削減するために小規模農家と協力していますか。

<スコアリング基準>

	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ
採点基準	1欄回答するごとに1点 a) [小規模農家とエンゲージメントしていますか。]欄で[はい、小規模農家とエンゲージメントしています]、[はい、独立系の小規模農家とエンゲージメントしています]または[はい、スキーム/プラズマ小規模農家とエンゲージメントしています]を選択：森林リスク・コモディティ行ごとに5点満点中5点獲得可能 b) [小規模農家とエンゲージメントしていますか。]欄で[はい、小規模農家とエンゲージメントしています]以外を選択：各森林リスク・コモディティ行ごとに2点満点中2点が獲得可能	採点対象外	情報開示が満点 その他の詳細は次のスライドを参照	マネジメントが満点 a) [小規模農家とエンゲージメントしていますか。]欄で[はい、小規模農家とエンゲージメントしています]、[はい、独立系の小規模農家とエンゲージメントしています]または[はい、スキーム/プラズマ小規模農家とエンゲージメントしています]を選択の場合： i) [説明してください]欄に、 前回報告年に完了した小規模農家とのエンゲージメント活動の事例 を記入：1点 基準i)が達成されている場合、以下の基準ii)を満たすことに対して加点 ii) [小規模農家とのエンゲージメント手法]欄で以下の選択肢のうちのいずれかを選択：1点 <ul style="list-style-type: none"> - [現地技術支援と拡張サービスの提供] - [パイロットプロジェクトへの投資] - [農業ベストプラクティスに関連付けられた高い金額の支払い] - [認証製品に対する金銭的インセンティブ] b) [小規模農家とエンゲージメントしていますか。]欄で[該当なし]を選択した場合、マネジメントが満点：2点 各森林リスク・コモディティに対して2点獲得可能
配点	5, 2	0	2	2



F6 実践 エンゲージメント

F6.7 農業のグッドプラクティスを支援し、森林減少および／または自然生態系の転換を削減するために小規模農家と協力していますか。

＜スコアリング基準＞

	マネジメント
採点基準	<p>情報開示が満点</p> <p>a) [小規模農家とエンゲージメントしていますか。]欄で[はい、小規模農家とエンゲージメントしています]、[はい、独立系の小規模農家とエンゲージメントしています]または[はい、スキーム/プラズマ小規模農家とエンゲージメントしています]を選択：</p> <ul style="list-style-type: none"> i) [エンゲージメントした小規模農家の数]欄に10を上回る数を記入： 0.5点 ii.i) [小規模農家とのエンゲージメント手法]欄で以下の選択肢のうちのいずれかを選択： 0.5点 <ul style="list-style-type: none"> - [農業投入物の提供] - [キャパシティビルディング・イベントの企画] - [土地所有権を明確化し、確保するための小規模農家の支援] - [森林減少高リスク地域の小規模農家支援の優先] - [農業ベストプラクティスに関連付けられた購入保証] - [森林関連コモディティに関連付けられた長期契約] <p>または</p> <ul style="list-style-type: none"> ii.ii) [小規模農家とのエンゲージメント手法]欄で以下の選択肢のうちのいずれかを選択： 0.25点： <ul style="list-style-type: none"> - [環境・社会指標に関するサプライヤーへのアンケート] - [サプライチェーン・マッピングツールの開発や配布] - [サプライヤー監査] - [技術資料を広める] iii) [説明してください]欄で主なエンゲージメント戦略を説明： 1点 <p>b) [小規模農家とエンゲージメントしていますか。]欄で[該当なし]を選択：</p> <ul style="list-style-type: none"> i) [説明してください]欄で、小規模農家が自社の事業モデルとサプライチェーンにとって関連性がない理由について自社固有の説明： 2点 <p>森林リスク・コモディティにつき2点獲得可能</p>
9 配点	2



F6 実践

エンゲージメント

【Aリスト要件】

F6.8 森林関連方針、誓約、およびその他の要（件）を順守するために、直接サプライヤーの生産能力（キャパシティ）を支援し、向上させるように直接サプライヤーとエンゲージメントを行っていますか。

F0.4の回答で[加工]、[取引]、[製造]、および/または[販売]を選択した場合にのみ、この質問が表示

<回答依頼内容>

森林リスク・コモディティ	直接サプライヤーとのエンゲージメントの有無	直接サプライヤーとのエンゲージメントの手法の種類	直接サプライヤーとのエンゲージメントの手法	エンゲージメントを行ったサプライヤーの割合	説明してください
F0.4で選択した森林リスク・コモディティから自動入力	選択肢: ● はい、直接サプライヤーとエンゲージメントを行っている ● いいえ、直接サプライヤーとエンゲージメントを行っていない ● 該当なし	該当するものをすべて選択: ● サプライチェーン・マッピング ● キャパシティビルディング ● 金銭的および商業的インセンティブ ● その他	該当するものをすべて選択してください: ● 表の下に示されているドロップダウンリスト	選択肢: ● <10% ● 10~20% ● 21~30% ● 31~40% ● 41~50% ● 51~60% ● 61~70% ● 71~80% ● 81~90% ● 91~99% ● 100% ● 不明	文章記入欄[最大2,400文字]

<直接サプライヤーとのエンゲージメントの手法：選択肢>

サプライチェーン・マッピング

- ・ サプライチェーン・マッピングツールの開発や配布
- ・ 環境・社会指標に関するサプライヤーへのアンケート
- ・ サプライヤー監査

キャパシティビルディング

- ・ 現地トレーニングと技術支援の提供
- ・ キャパシティビルディング・イベントの企画
- ・ 技術資料を広める
- ・ パイロットプロジェクトへの投資

金銭的および商業的支援

- ・ 農業ベストプラクティスに関連付けられた高い金額の支払い
- ・ 認証製品に対する金銭的インセンティブ
- ・ 農業ベストプラクティスに関連付けられた与信枠の提供
- ・ 農業ベストプラクティスに関連付けられた購入保証

その他

- ・ その他、具体的にお答えください。

エンゲージメントの有無によって、以下を説明：

●[直接サプライヤーとエンゲージメントをしている]の場合：**エンゲージメント戦略とインパクトにかかる1つ以上の事例**

●[直接サプライヤーとエンゲージメントをしていない]の場合：エンゲージメントを行っていない理由

●[該当なし]の場合：サプライヤーが、自社の事業モデルとサプライチェーンに関連していない理由



F6 実践 エンゲージメント

F6.8 森林関連方針、誓約、およびその他の要（件）を順守するために、直接サプライヤーの生産能力（キャパシティ）を支援し、向上させるように直接サプライヤーとエンゲージメントを行っていますか。

<スコアリング基準>

	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ
採点基準	<p>a) [直接サプライヤーとのエンゲージメントの有無]欄で[はい]を選択の場合：1欄回答するごとにポイントを付与、5点満点中5点</p> <p>b) [直接サプライヤーとのエンゲージメントの有無]欄で、[はい]以外を選択の場合：1欄回答するごとにポイントを付与、2点満点</p>	採点対象外	次のスライドで詳述	<p>マネジメントが満点</p> <p>a) [直接サプライヤーとのエンゲージメントの有無]で[はい]を選択の場合</p> <p>i) [説明してください]欄に、エンゲージメントした直接サプライヤーの数記入：1点</p> <p>ii) [説明してください]欄に、前回報告年に完了した直接サプライヤーとのエンゲージメント活動の事例を記入：1点</p> <p>基準i)とii)が達成されている場合、以下の基準iii)を満たすことに対して加点：</p> <p>iii) [直接サプライヤーとのエンゲージメント手法]欄で以下の選択肢のうちのいずれかを選択：1点</p> <ul style="list-style-type: none"> - [現地トレーニングと技術支援の提供] - [パイロットプロジェクトへの投資] - [農業ベストプラクティスに関連付けられた高い金額の支払い] - [認証製品に対する金銭的インセンティブ] - [農業ベストプラクティスに関連付けられた与信枠の提供] <p>b) [直接サプライヤーとのエンゲージメントの有無]で[該当なし]を選択の場合</p> <p>マネジメントが満点：3点</p> <p>各森林リスク・コモディティにつき3点獲得可能</p>
配点	5, 2	0	2	3



F6 実践 エンゲージメント

F6.8 森林関連方針、誓約、およびその他の要（件）を順守するために、直接サプライヤーの生産能力（キャパシティ）を支援し、向上させるように直接サプライヤーとエンゲージメントを行っていますか。

＜スコアリング基準＞

マネジメント

情報開示が満点

a) [直接サプライヤーとのエンゲージメントの有無]で[はい]を選択の場合：

i.i) 以下のいずれかを選択：0.5点

- [現地トレーニングと技術支援の提供]
- [キャパシティビルディング・イベントの企画]
- [パイロットプロジェクトへの投資]
- [農業ベストプラクティスに関連付けられた高い金額の支払い]
- [認証製品に対する金銭的インセンティブ]
- [農業ベストプラクティスに関連付けられた与信枠の提供]
- [農業ベストプラクティスに関連付けられた購入保証]
- [森林関連コモディティに関連付けられた長期契約]

または

i.ii) [直接サプライヤーとエンゲージメント手法]欄で以下の選択肢のうちのいずれかを選択：0.25点

- [環境・社会指標に関するサプライヤーへのアンケート]
- [サプライチェーン・マッピングツールの開発や配布]
- [サプライヤー監査]
- [技術資料を広める]

ii) [説明してください]欄に主なエンゲージメント戦略の説明を記入 - 1点

iii) [エンゲージメントしたサプライヤーの割合]欄で[不明]または[<10%]を除くいずれかの選択肢を選択：0.5点

b) [直接サプライヤーとのエンゲージメント有無]欄で[該当なし]を選択の場合：

i) [説明してください]欄で、直接サプライヤーが自社の事業モデルとサプライチェーンにとって関連性がない理由の自社固有の説明を記入：2点

各森林リスク・コモディティにつき2点獲得可能



F6 実践 エンゲージメント

F6.9 森林減少リスクを管理および緩和するために一次サプライヤーを超えてエンゲージメントを行っていますか。

<回答依頼内容>

F0.4の回答で、[取引]、[製造]、および/または[販売]を選択した場合

森林リスク・コモディティ	一次サプライヤーを超えてエンゲージメントを行っていますか？	間接サプライヤーとのエンゲージメントの手法の種類	間接サプライヤーとのエンゲージメントの手法	説明してください
F0.4で選択した森林リスク・コモディティから自動入力	選択肢: ● はい、一次サプライヤーを超えてエンゲージメントを行っている。 ● いいえ、一次サプライヤーを超えてはエンゲージメントを行っていない。 ● 該当なし	該当するものをすべて選択: ● サプライチェーン・マッピング ● キャパシティビルディング ● その他	該当するものをすべて選択してください: ● 以下の表の通りの回答ドロップダウンリスト	文章記入欄[最大2,400文字]

<間接サプライヤーとのエンゲージメントの手法：選択肢>

サプライチェーン・マッピング

- ・ サプライチェーン・マッピングツールの開発や配布
- ・ 環境・社会指標に関するサプライヤーへのアンケート
- ・ 間接サプライヤーとの現場会議
- ・ サプライヤー監査

キャパシティビルディング

- ・ 現地トレーニングと技術支援の提供
- ・ 技術資料を広める
- ・ ワークショップへの参加
- ・ パイロットプロジェクトへの投資

その他

- ・ その他、具体的にお答えください。

一次サプライヤーを超えてのエンゲージメントの有無によって以下を説明

- [間接サプライヤーとエンゲージメントをしている]の場合：**エンゲージメントの戦略、エンゲージメントを行った間接サプライヤーの推定数、間接サプライヤーとのエンゲージメントに関する1つ以上の事例**
- [間接サプライヤーとのエンゲージメントを行っていない]の場合：間接サプライヤーが自社に関連していると考えられない理由
- [該当なし]の場合：間接サプライヤーが自社の事業モデルとサプライチェーンに関連しない理由



F6 実践 エンゲージメント

F6.9 森林減少リスクを管理および緩和するために一次サプライヤーを超えてエンゲージメントを行っていますか。

<スコアリング基準>

	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ
採点基準	<p>a) [一次サプライヤーを超えたエンゲージメントの有無]欄で[はい]を選択の場合、1欄回答する毎にポイント付与：4点満点中4点</p> <p>b) [一次サプライヤーを超えたエンゲージメントの有無]欄で[はい]以外を選択の場合、1欄回答する毎にポイント付与：2点満点中2点</p>	採点対象外	次のスライで詳述	<p>マネジメントが満点</p> <p>a) [一次サプライヤーを超えたエンゲージメントの有無]欄で[はい]を選択：</p> <p>i) [説明してください]欄に、前回報告年に完了した間接サプライヤーとのエンゲージメント活動の事例を記入：1点</p> <p>基準i)が達成されている場合、以下の基準ii)を満たすことに対して加点点</p> <p>ii) [間接サプライヤーとのエンゲージメント手法]欄で以下の選択肢のうちのいずれかを選択：1点</p> <ul style="list-style-type: none"> - [現地トレーニングと技術支援の提供] - [パイロットプロジェクトへの投資] <p>b) [一次サプライヤーを超えたエンゲージメントの有無]欄で、[該当なし]を選択：マネジメントが満点：2点</p> <p>各森林リスク・コモディティにつき2点獲得可能</p>
配点	4, 2	0	1	2



F6 実践 エンゲージメント

F6.9 森林減少リスクを管理および緩和するために一次サプライヤーを超えてエンゲージメントを行っていますか。

<スコアリング基準>

マネジメント	
情報開示が満点	
a) [一次サプライヤーを超えたエンゲージメントの有無]欄で [はい]を選択の場合：	b) [一次サプライヤーを超えたエンゲージメントの有無]欄で [該当なし]を選択：
i.i) [間接サプライヤーとのエンゲージメント手法]欄で以下の選択肢のうちのいずれかを選択：0.5点	・ [説明してください]欄に、自社の事業モデルとサプライチェーンにとって関連性がない理由の自社固有の説明を記入：1点
- [間接サプライヤーとの現場会議]	
- [現地トレーニングと技術支援の提供]	
- [技術資料を広める]	
- [パイロットプロジェクトへの投資]	
または	各森林リスク・コモディティにつき1点獲得可能
ii.ii) [間接サプライヤーとのエンゲージメント手法]欄で以下の選択肢のうちのいずれかを選択：0.25点	
- [環境・社会指標に関するサプライヤーへのアンケート]	
- [サプライチェーン・マッピングツールの開発や配布]	
- [サプライヤー監査]	
- [ワークショップへの参加]	
iii) [説明してください]欄に 主なエンゲージメント戦略 の説明を記入 - 0.5点	



F6 実践

エンゲージメント

【Aリスト要件】

F6.10 貴社の森林関連方針と誓約の実行を促進するために、社外の活動および／またはイニシアチブに参加していますか。

<回答依頼内容>

森林リスク・コモディティ	活動/イニシアチブに参加していますか。	活動	イニシアチブ*	管轄アプローチ**	説明してください
選択肢: F0.4で選択した森林リスク・コモディティから作成されたリスト	選択肢: <input checked="" type="radio"/> はい <input type="radio"/> いいえ	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> マルチパートナーシップまたはステークホルダーイニシアチブに参加した 管轄アプローチに参加した 政策担当者や政府に対してエンゲージメントを行っている 業界プラットフォームに参加している コミュニティに対してエンゲージメントを行っている 非政府組織に対してエンゲージメントを行っている 調査機関への出資を通して その他、具体的にお答えください 	該当するものをすべて選択: <ul style="list-style-type: none"> 表の下に示されているドロップダウンリスト 	該当するものをすべて選択: <ul style="list-style-type: none"> 生産し、保全し、含める(PCI) グリーン地方自治体プログラム 生産、保護、および包含(PPI) 持続可能な森林景観のためのバイオ炭素基金イニシアチブ RSPO認証に対する管轄アプローチ 持続可能な地域協会(Lingkar Temu Kabupaten Lestari) 検証済み調達地域 森林、農場、および金融イニシアチブ INOBU(インドネシア) その他、具体的にお答えください 	文章記入欄(最大2,400文字)

* 前の列で[マルチパートナーシップまたはステークホルダーイニシアチブに参加した]を選択した場合にのみ表示。

** [管轄アプローチに参加した]を選択した場合にのみ表示。

参考：管轄アプローチに、企業が取り組むことのメリット、日本企業による具体的な事例等については、「CDPフォレストレポート2020：日本版」をご参照ください。

・ 選択した活動/イニシアチブのそれぞれにおける貴社の役割（事例も含む）
 ・ 活動やイニシアチブの欄で、[その他、具体的にお答えください]を選択した場合、その内容



F6 実践 エンゲージメント

F6.10 貴社の森林関連方針と誓約の実行を促進するために、社外の活動および／またはイニシアチブに参加していますか。

<スコアリング基準>

	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ
採点基準	<p>各行の記入したセルの数に比例して、ポイントを付与</p> <p>回答に使用した行の数に関わらず、森林リスク・コモディティごとに4点獲得可能</p>	<p>情報開示が満点</p> <p>森林コモディティ毎に1行のみが評価対象</p> <p>回答した行の数に比例して、認識ポイントを付与</p> <p>i) [活動]欄で[その他、具体的にお答えください]を除くいずれかの選択肢を選択する場合。</p> <p>回答するために使用される行の数に関わらず、森林リスク・コモディティごとに3.5点獲得可能</p>	<p>i) [活動]欄で[マルチパートナーシップ・・・]を選択、[イニシアチブ]欄で[その他、具体的にお答えください]以外を選択、かつ、[説明してください]欄にこの活動内での自社の役割にかかる説明を記入 - 1点</p> <p>ii) [活動]欄で[管轄アプローチ・・・]を選択、[管轄アプローチ]欄でいずれかを選択、かつ、[説明してください]欄に管轄アプローチ内での自社の役割にかかる説明を記入 - 1点</p> <p>森林リスク・コモディティごとに2点獲得可能 森林リスク・コモディティごとに2行採点可能</p>	<p>マネジメントが1点以上</p> <p>i) [活動]欄で選択した活動が自社の環境戦略内にどのように適合するかについての自社固有の説明を[説明してください]欄に記入 - 1点</p> <p>森林リスク・コモディティごとに1点獲得可能 森林リスク・コモディティごとに1行採点可能</p>
配点	4	3.5	2	1



F6 実践

生態系復元プロジェクト

F6.11 貴社は、生態系復元や保護に焦点を合わせたプロジェクトを支援または実施していますか。

はいの場合⇒F6.11aへ (情報開示1点、認識2点)

いいえ、しかし今後2年以内にプロジェクトを実施する予定⇒F7へ (情報開示1点、認識1点)

いいえの場合⇒F7へ (情報開示1点)

F6.11a プロジェクトの規模、期間、およびモニタリング頻度に関する詳細を記入します。評価した成果を詳述してください。

<回答依頼内容> F6.11の回答で[はい]を選択した場合、この質問が表示

プロジェクトの参照番号	プロジェクト種別	一番の動機	プロジェクトの詳細	開始年	目標年		
選択肢: <ul style="list-style-type: none"> ● プロジェクト1 ● プロジェクト2 ● プロジェクト3 ● プロジェクト4 ● プロジェクト5 ● プロジェクト6 ● プロジェクト7 ● プロジェクト8 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> ● 森林生態系復元 ● その他の生態系復元 ● 森林再生 ● 自然再生 ● 森林農業 ● 休耕地 ● 生物多様性オフセット ● その他、具体的にお答えください 	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> ● 規制によって義務付けられている ● 認証機関によって義務付けられている ● 自主的 ● その他、具体的にお答えください 	文章記入欄[最大2,400文字]	[YYYY]	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> ● 2019年以前 ● 2020 ● 2021年 ● 2022年 ● 2023年 ● 2024年 ● 2025年 ● 2026年 		
今までのプロジェクト面積 (ヘクタール)	目標年のプロジェクト面積 (ヘクタール)	国/地域	緯度	経度	モニタリング頻度	今までの測定した成果	説明してください
数値記入欄[最大小数点第2位 を用いて、0～ 999,999,999,999の数字を入 力]	数値記入欄[最大小数点第2位 を用いて、0～ 999,999,999,999の数字を入 力]	選択肢: [国/地域のリスト]	数値記入欄[最大小数点第6位 を用いた-90.000000～ 90.000000の数字を入力]	数値記入欄[最大小数点第6位 を用いた-180.000000～ 180.000000の数字を入力]	選択肢: <ul style="list-style-type: none"> ● 半年に1回以上 ● 年1回 ● 2年に1回 ● 5年に1回 ● モニタリングを実施したこ とはない 	該当するものをすべて選択: <ul style="list-style-type: none"> ● 生物多様性 ● 炭素隔離 ● 土壌 ● 水 ● 気候調節 ● 財務管理 ● 測定した成果はない ● その他、具体的にお答えく ださい 	文章記入欄[最大2,400文字]



F6 実践 生態系復元プロジェクト

F6.11a プロジェクトの規模、期間、およびモニタリング頻度に関する詳細を記入します。評価した成果を詳述してください。

<スコアリング基準>

	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ
採点基準	<p>1欄回答するごとに1点(13点獲得可能)</p> <p>1行のみ採点可能</p>	<p>情報開示8点以上</p> <p>この質問で認識ポイントを獲得するには、情報開示ポイントが8ポイント以上付与されている必要があります。</p> <p>i) [主な理由]（一番の動機）欄でいずれかの選択肢を選択：1点</p> <p>ii) [開始年]欄に1950年以降、2020年以前の年を記入：1点</p> <p>iii) [モニタリングの頻度]欄で[モニタリングを実施したことはない]以外を選択：1点</p> <p>iv.i) [プロジェクト種別]欄で[休耕地]を選択し、[緯度]に-90.000000～90.000000の数字を記入し、[経度]欄に-180.000000～180.000000の数字を記入：1点</p> <p>または</p> <p>iv.ii) [休耕地]以外を選択し[国/地域]欄を記入：1点</p> <p>1行のみが採点有</p>	<p>認識が3点以上</p> <p>i) [モニタリングの頻度]欄で[モニタリングを実施したことはない]と[5年に1回]以外を選択：1点</p> <p>ii) [これまでに評価した成果]欄で[評価した成果はない]以外を選択（ただし[開始日]に記入した日付が2020年であれば[測定した成果はない]でも得点可能）：1点</p> <p>iii)[主な理由]（=一番の動機）欄で選択した理由の説明を[プロジェクトの詳細]欄で説明し、[主な理由]（一番の動機）欄で[規制要件]を選択した場合には、この要件の法的根拠と特に自社が順守を求められている理由について説明：1点</p> <p>1行のみ採点有</p> <p>F6.11で[はい]が選択されていない：1点満点中0点</p>	<p>マネジメントで2点以上</p> <p>[説明してください]欄に、これまでのプロジェクトの評価した成果に関する詳細を記入、[開始日]に記入した日付が2020年である場合、プロジェクトの予想される成果に関する詳細を記入：1点</p> <p>1行のみ採点</p> <p>F6.11で[はい]が選択されていない：1点満点中0点</p>
配点	13	4	3	1



F7 検証 Verification

F7.1 貴社のCDP開示で報告した森林情報を検証していますか。

Yes

F7.1a 貴社のCDP開示の中ではどのデータポイントを検証しましたか。また、どのような基準を使用しましたか。

- 実施中
- いいえ、しかし今後2年以内に検証することを積極的に検討中
- いいえ、より成熟度の高い検証基準/プロセスを待っている
- いいえ、CDPで報告した森林関連情報は検証していない。検証する予定もない

モジュール終了



F7 検証

F7.1 貴社のCDP開示で報告した森林情報を検証していますか。

検証を受けた場合（はいを選択）⇒F7.1aへ （情報開示1点、認識1点）
いいえ、CDPで報告した森林関連情報は検証していない。そして、検証する予定もない。以外を選択⇒ F8へ
（情報開示1点、認識1点）
検証を受けていない場合⇒F8へ （情報開示1点）

F7.1a 貴社のCDP開示の中ではどのデータポイントを検証しましたか。また、どのような基準を使用しましたか。

<回答依頼内容>

開示モジュール	検証されたデータポイント	検証基準	説明してください
選択肢 • F0. はじめに • F1. 現在の状況 • F2.手順 • F3.リスクと機会 • F4.ガバナンス • F5.戦略 • F6.実践 • SF.サプライチェーンモジュール • その他 具体的にお答えください	記述式回答	記述式回答	記述式回答

貴データ／プロセス／システムの各種類ごとに新しい行を追加してください。

<スコアリング基準>

	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ
採点基準	1欄回答する毎に1点 4点獲得可能	採点対象外	採点対象外	採点対象外
配点	4	0	0	0



F8 障壁と課題 Barriers and challenges

F8.1 貴社の 直接操業またはバリューチェーンのその他の部分による森林減少および/またはその他の自然生態系の転換の排除に対する主要な障壁または課題について説明します。



F8.2 森林減少および/またはその他の自然生態系の転換におけるリスクを管理する貴社の能力を向上させるであろう主な方策について説明します。



モジュール終了



F8 障壁と課題

F8.1 貴社の直接操業またはバリューチェーンのその他の部分による森林減少および／またはその他の自然生態系の転換の排除に対する主要な障壁または課題について説明します。

<回答依頼内容>

森林リスクコモディティ	対象範囲	主な障壁/課題の種類	コメント
F0.4で選択した森林リスク・コモディティ	選択肢（複数可） <ul style="list-style-type: none"> 直接操業 サプライチェーン バリューチェーン上のその他の部分 	選択肢 <ul style="list-style-type: none"> サプライチェーンの複雑さ 適切なトレーサビリティシステムの欠如 認証を受けた原材料の入手が限定的 一般の認知度や市場の需要が限られている 調達地域での土地所有権と不確かな財産権の問題 地方自治体からの規制上の管理と承認の不足 人権問題を特定して対処することの困難さ 認証基準が存在しないか未成熟 認証費用や認証要件の複雑さ 持続可能に製造・認定された製品の費用 サプライチェーン協働が限られている その他（具体的にお答えください） 	記述式回答

<スコアリング基準>

	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ
採点基準	[コメント]欄以外、1欄回答する毎に1点 森林リスク・コモディティの各行につき2点獲得可能森林リスク・コモディティ毎に1行のみが評価対象	情報開示が満点 [主な障壁/課題の種類]を選択：1点 森林リスク・コモディティごとに1行のみが評価対象	採点対象外	採点対象外
112 配点	2	1	0	0



F8 障壁と課題

F8.2 森林減少および／またはその他の自然生態系の転換におけるリスクを管理する貴社の能力を向上させるであろう主な方策について説明します。

<回答依頼内容>

森林リスク・コモディティ	対象範囲	主な方策	コメント
F0.4で選択した森林リスク・コモディティ	選択肢（複数可） <ul style="list-style-type: none"> 直接操業 サプライチェーン バリューチェーン上のその他の部分 	選択肢 <ul style="list-style-type: none"> データ収集およびデータ品質の改善 透明性向上 ... 強制力の高い規制 その他（具体的にお答えください） 	記述式回答

<スコアリング基準>

	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ
採点基準	[コメント]欄以外、1欄回答する毎に1点 森林リスク・コモディティ1点につき1行のみが評価対象	情報開示が満点 [主な方策]を選択：1点 森林リスク・コモディティ1点につき1行のみが評価対象	採点対象外	採点対象外
配点	2	1	0	0



F17 最終承認

F-FI

この欄を使用して、貴社の回答に関連する追加情報を記入します。この欄は任意で、採点されないことにご注意ください。



F17.1

CDPフォレスト質問書への貴社の回答を最終承認した人物に関する以下の情報を記入します。



モジュール終了



F17 最終承認

F17.1 CDPフォレスト質問書への貴社の回答を最終承認した人物に関する以下の情報を記入します。

<回答依頼内容>

役職	職種
記述式回答	選択肢（複数可） <ul style="list-style-type: none"> 取締役会議長 取締役会/執行役員会 ⋮ リスク管理部長 その他（具体的にお答えください）

<スコアリング基準>

	情報開示	認識	マネジメント	リーダーシップ
採点基準	1欄回答するごとに1点	採点対象外	情報開示が1点以上 [職種]欄で以下を選択：2点 取締役会議長, 取締役会/執行役員会, 取締役, 最高経営責任者(CEO), 最高財務責任者(CFO), 最高執行責任者(COO), 最高調達責任者(CPO), 最高リスク管理責任者(CRO), 最高サステナビリティ責任者(CSO), その他の経営幹部役員, 社長 その他の選択：1点	[職種]欄で選択した内容と、[役職]欄で記述した説明が一致 [職種]欄で以下を選択：1点 取締役会議長, 取締役会/執行役員会, 取締役, 最高経営責任者(CEO), 最高財務責任者(CFO), 最高執行責任者(COO), 社長
配点	2	0	2	1



Aリストの選定基準

参考：以下は「2021年フォレスト質問書スコアリング基準」からの抜粋

リーダーシップとAリスト基準

いくつかの質問でリーダーシップレベルに関するスコアリングが行われ(詳細は各質問の採点基準を参照してください)、リーダーシップレベルを達成するには最低の閾値のポイントを満たす必要があります。

Aリストのステータスを獲得するためには、企業は回答の中にいくつかの項目が含まれるようにして、以下のいくつかの基準を満たす必要があります：

- スコアリングイントロダクションで概要を示したとおり、リーダーシップポイントの最低閾値スコアを獲得する必要があります；

- 質問F0.5/F0.5aで報告した重大な除外なし：

- 除外(F0.5a)の根拠において、企業は報告した各除外内容の重大さのレベルの指標と、各除外内容が代表するコモディティ使用量の定量的指標を示す必要があります。
- 説明においていかなる種類の根拠または定量的指標も示していない企業は2021年フォレストAリストの資格はありません。
- 直近の合併、買収、または売却による除外は重大な除外とは見なされず、上記基準を免除されます。直近の合併または買収による除外内容を報告する場合、買収が起こった年と、今後いつから回答に当該森林関連データを含める予定かを記述してください。

- すべての直接操業とサプライチェーンの包括的、かつ、徹底的なリスク評価が行われたことを実証している（質問F2.1aで満点の認識ポイントを獲得する）

- コモディティに関連した森林減少と森林劣化に向けた行動を実証している：

- 企業は、質問F6.1、F6.2およびF6.10で[はい]；質問F4.5で[はい、文書化した森林に関する企業方針があり、公開している]；質問F6.4で[はい、転換および/または森林減少の誓約について実施中のシステムがあります]；および質問F6.8（該当する場合）で[はい、直接サプライヤーに対してエンゲージメントを行っている]を選択する必要があります；
- 企業はF4.6bでリーダーシップ基準 ii)のポイントを獲得する必要があります；
- 木材製品、パーム油、および大豆の場合のみ：企業は質問F6.3で[はい]を選択する必要があります。

- 回答を一般に公開している

さらに、企業は多くの確認事項を満たしている必要があり、その詳細はスコアリングイントロダクションをご覧ください。

2020年から、Aリストの選定基準に変更がございませんが、赤枠部分について基準が明確化されました。



CDPジャパン事務局

Address: 東京都千代田区大手町2-2-1新大手町ビル3階



Tel: +81 (0)3 6225 2232



www.cdp.net/ja/japan (日本語サイト)



Contact email address:
japan@cdp.net

